

令和6年度決算 事業体系図

所属名： 教育総務課

(単位：千円)

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
9 教育費	1 教育総務費	1 教育委員会費	243	教育委員会費	2,034	2,015
			小計		2,034	2,015
9 教育費	1 教育総務費	2 事務局費	245	教育委員会事務局費	37,034	35,339
			246	ALT配置事業	7,144	7,122
			247	進学支援事業	8,254	4,902
			1533	ICT教育推進事業	6,169	5,855
			1125	コミュニティスクール推進事業	1,496	807
			1476	共同学校事務室	849	729
		小計		60,946	54,754	
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	256 等	一般経常経費（小学校）	96,459	83,932
			小計		96,459	83,932
9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	262 等	一般教育振興費（小学校）	43,843	42,393
			小計		43,843	42,393
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	277 等	一般経常経費（中学校）	96,142	33,192
			小計		96,142	33,192
9 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	280 等	一般教育振興費（中学校）	30,944	25,758
			1651	中学生国際交流事業	2,839	2,641
			小計		33,783	28,399
9 教育費	5 保健体育費	4 給食センター運営費	353	学校給食事業	315,303	225,162
			小計		315,303	225,162
所属合計					648,510	469,847

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	243	事業名	教育委員会費	会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課	担当係	総務係	□新規 ■継続			
予算区分	款 9 教育費	項	1 教育総務費	目	1 教育委員会費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,034	2,015	0	0	0	0	2,015
事業の目的(なんのために)	教育行政における重要事項や基本的事項などを決定するとともに、関係事務の執行状況を点検、評価し、地域住民の意向を反映した教育行政を実現するために、琴浦町教育委員会の運営を行います。						
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳	
教育委員会運営	<p>月1回の定例会及び必要に応じて開催する臨時会において、必要事項を決定しました。</p> <p>学校訪問のほか学校行事や地域行事等への参加を通じて、学校や地域の実情、課題の的確な把握に努めるとともに、学校現場の諸課題や地域課題に関する各種研修に積極的に参加しました。</p> <p>総合教育会議における意見交換により、教育行政に関する方向性などについて町長との連携強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 1,951千円 ・負担金 64千円 				2,015	単町	
合計					2,015		
事業の主な実施状況	<p>■R6年度教育委員会の主な活動状況</p> <p>(1) 教育委員会の会議 15回</p> <p>(2) 総合教育会議 1回</p> <p>※会議資料、会議録については、町ホームページで公開</p> <p>■その他の活動状況</p> <p>(1) 学校計画訪問(小中学校 6回、こども園 2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業及び保育参観 ・各校等の運営方針や取り組み状況について聴取及び教職員との意見交換等 <p>(2) 町内会議・行事等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員宣誓式、小中学校入学式・卒業式、その他行事 <p>(3) 研修・視察・調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/29 東伯地区教育委員会連絡協議会 ・7/10 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 ・2/2 鳥取県教育研究大会 						
事業目的の達成状況	担当課による評価		S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>教育現場の状況把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>町内各学校、こども園への計画訪問や行事参加、各種研修会への参加等を通じて、子どもたちの学習環境の把握に努めました。</p> <p>また、教育委員会にて、教育行政の課題について協議を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>教育環境や児童生徒の状況、教育行政における課題などの把握に努め、教育委員会を適宜開催して協議を行いました。</p>						
	<p>今後の取り組みの方向</p> <p>今後も教育現場の状況把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。</p>						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費			会計区分	一般会計																															
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続																																
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費																																
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進																																	
	重点事業																																					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					町債	一般財源																													
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)																																	
令和6年度	37,034	35,339	0	412	1,011	6,000	27,916																															
事業の目的(なんのために)	教職員の健康管理や校務用システム環境の整備など、町内の小中学校全般に関わる事務を執行することで、町内の義務教育環境を整えます。																																					
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳																															
義務教育環境の整備	教職員の校務用PCシステム環境の整備や、町内児童生徒全般に関わる事務を行いました。 ・少人数学級協力負担金 6,000千円 ・教育ネットワーク保守委託料 2,640千円 ・学校業務支援システム負担金 2,294千円 ・校務用PC、プリンター等リース料 15,035千円 ・就学指導推進協議会負担金 37千円 ・中部子ども支援センター負担金 1,730千円 ・郡小・中学校負担金 327千円 ・通信運搬費(学校公用携帯) 251千円 ・聖郷小学校門脇教育図書購入基金利子積立金 11千円 ・特殊建物定期点検委託料 3,960千円					32,285	過疎債6,000、その他11、町26,274																															
教職員の健康管理	町内の学校に勤務する教職員に対し健康診断等を行いました。 ・健康診断実施手数料 1,034千円 ・教職員ストレスチェック手数料 15千円 ・産業医面接指導委託料 20千円					1,069	単町																															
フリースクール利用料助成事業	フリースクール利用にかかる経費の一部を助成しました。 ・琴浦町フリースクール利用料補助金 1,435千円 助成対象：授業料等、交通費 助成金額：授業料等の全額(上限30千円/月) 交通費全額(公共交通機関)					1,435	県412、平岩福祉教育基金1,000、町23																															
就学支援診断書料助成事業	就学先の決定に向けた東伯郡就学指導委員会での審査に必要な診断書の取得に係る費用の一部を助成しました。 ・琴浦町就学支援診断書料補助金 84千円 助成対象：特別支援学級等への入級等を検討する保護者 助成内容：診断書料の全額(上限3,000円/件)					84	単町																															
教育委員会事務局運営費	事務局の運営を行う。 ・普通旅費 128千円 ・教育長交際費 12千円 ・消耗品 262千円 ・燃料費 51千円 ・自動車保険料 13千円					466	単町																															
合計						35,339																																
事業の主な実施状況	<p>■少人数学級の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県基準による少人数学級の実現により、子どもたちの学びやすい環境を整えるとともに、教員の学級経営の負担軽減を図りました。(3クラスが該当：浦安小4年、赤碕小4年、赤碕小5年) <table border="1"> <tr> <td>配置基準</td> <td>小1</td> <td>小2</td> <td>小3</td> <td>小4</td> <td>小5</td> <td>小6</td> <td>中1</td> <td>中2</td> <td>中3</td> </tr> <tr> <td>国基準</td> <td></td> <td></td> <td>35</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県基準</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td>35</td> <td>33</td> <td>35</td> <td></td> </tr> </table> <p>■教職員校務環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 校務用パソコン機器のほか学校業務専用ネットワーク回線及び県下統一の学校業務支援システムに係る経費を負担し、教職員の業務負担軽減を図りました。 教職員の健康診断及びストレスチェックを実施し、適切な健康管理を図りました。 								配置基準	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	国基準			35				40			県基準			30			35	33	35	
配置基準	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																													
国基準			35				40																															
県基準			30			35	33	35																														

	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建物の法定点検を実施しました。（3年に1度） ■学習支援員等の配置（別事業） ・学習支援員、部活動指導員、日本語学習支援員、外国語活動支援員、スクール・ソーシャル・ワーカー、特別支援教育コーディネーター、CSディレクター等を配置し、学習環境の充実を図りました。 ■保護者への経済的支援 ・フリースクール利用料補助金、就学支援診断書料補助金を実施し、保護者負担の軽減を図りました。 	
事業目的の達成状況	担当課による評価	S 目的達成
	<p>【前年度の課題の概要】 日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中、きめ細かな対応ができるよう、継続して学習支援員等の配置を行う必要があります。 県費負担教職員の増員、処遇改善等については、引き続き国や県に働きかけを行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 県基準による学級編成を行うことで、少人数学級を実現しました。 また、日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒にきめ細かな対応ができるよう、学習支援員等の配置を適切に行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 少人数学級の実現に加えて学習支援員をはじめとする必要な職員を配置することで、多様化するニーズに対応する学校現場の負担軽減を図ることができました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>多様化する教育ニーズに対応し教職員の負担軽減を図るために、必要な環境整備を継続して行います。 また、県費負担教職員の増員、処遇改善等について、継続して国や県に働きかけを行います。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	246	事業名	ALT配置事業		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	7,144	7,122	0	0	0	5,600	1,522
事業の目的(なんのために)	学校生活の中で外国語や外国文化に興味を持つきっかけを作ること、外国語に対して苦手意識を持つことなく、コミュニケーション手法の一つとしての英語力を身につけた人材を育成します。						
細事業等	内容		決算額(千円)	財源内訳			
中学校ALT配置事業	中学校2校にそれぞれA L T (JETプログラム)を配置しました。 ・ALT住居費用(家賃補助金)等 366千円 ・ALT受入及び帰国負担金 等 1,080千円		1,446	単町			
小学校ALT配置事業	児童が外国語に親しむ機会を広げるため、小学校にA L Tを派遣しました。 1名のA L Tが町内5つの小学校を巡回しました。 ・ALT派遣委託料 5,676千円		5,676	過疎債5,600、町76			
合計			7,122				
事業の主な実施状況	<p>■中学校へのALT配置</p> <p>・JETプログラムを活用して、東伯中学校と赤崎中学校にそれぞれ1名ずつALTを配置しました。英語の授業をサポートするほか、校内掲示物や図書を通じて英語と親しむ機会を作るなどの活動を行いました。</p>						
							
<p>■小学校へのALT配置</p> <p>・民間事業者への委託により、ALTが町内の全小学校を巡回、指導を行いました。外国語活動や外国語教科をサポートすることで、教員の負担軽減を図りました。</p>							
事業目的の達成状況	担当課による評価		S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】 任期を終えて帰国するALTに代わり新たなALTを中学校に1名配置します。各校の意見や活用状況を参考に、今後の配置や活動の場などを検討していきます。</p>						
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 新たなALTを赤崎中学校に配置しました。各校の聞き取りを行い、ALTの活動内容や巡回日程などや委託事業者との連絡調整を行いました。</p>						
今後の取り組みの方向	<p>【担当課による評価の理由】 中学校にはALTを常勤で配置し、英語の授業はもとより校内掲示等により生徒とのコミュニケーションを図るなどの活動を行いました。 小学校は1名のALTが5校を巡回し、児童の外国語への興味を高めることができました。</p>						
	<p>現在のALTが任期を終えて帰国するため、新たなALTを中学校にそれぞれ1名配置します。引き続き、外国語に親しむ機会を増やしていくことで、児童生徒の英語力向上を図ります。</p>						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	247	事業名	進学支援事業		会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	8,254	4,902	0	2,249	2,262	0	391	
事業の目的 (なんのために)	高校生、大学生の修学に係る経費負担を軽減し、修学の機会を拡大します。							
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳		
高校生等通学費補助事業	町内の高校生等がJRや路線バス、琴浦町営バスを利用して通学するにあたり費用の一部を助成しました。 ・高校生通学費補助金 4,420千円 対象：JR通学定期券代、バス定期代（一部） 助成額：月額7,000円を超える額 ・高校生町内バス通学費補助金 79千円 対象：琴浦町営バス通学定期券代 助成額：定期券代の8割				4,500	県2,249、ふるさと未来夢寄附金2,000、町251		
通学援助費	大成地区の児童生徒の通学にかかる保護者負担の軽減のため、通学費の一部を支援しました。 ・扶助費 140千円				140	単町		
林原育英奨学資金貸付事業	・基金積立金 240千円 ・基金利子積立金 22千円				262	その他262		
合計					4,902			
事業の主な実施状況	■高校生等の通学支援 (1) 高校生等通学費補助金 (117人支給) ・高校への通学費の一部を助成 (JR及びバス定期代のうち月7,000円を超える額) することで、保護者の負担軽減を図りました。 (2) 高校生町営バス通学費補助金 (5人支給) ・対象地域に居住する高校生に対して琴浦町営バスの定期代の8割を助成し、保護者の負担軽減を図りました。 (3) 大成地区の通学支援 (1世帯支給) ■林原育英奨学資金の貸付 ・R6年度は、貸付け希望者がありませんでした。							
	担当課による評価			S 目的達成				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 申請の簡素化、保護者負担の軽減を目指し電子申請の導入など検討をすすめます。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 電子申請の導入を図るため、高校生通学費補助金要綱の改正による申請の簡素化について検討をすすめました。令和7年度中の導入を目指します。							
	【担当課による評価の理由】 経済的理由によって進路の変更を余儀なくされる生徒がないよう、制度の周知と運用を行いました。							
今後の取り組みの方向	高校生等通学費補助金について、保護者負担の軽減と利便性向上のため電子申請の導入をすすめます。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1533	事業名	ICT教育推進事業		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			③ ICTを活用した個別最適な学びの提供			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	6,169	5,855	0	0	4,000	0	1,855
事業の目的(なんのために)	ICTが進化し変化の激しい社会を生きる子どもたちにふさわしい、全ての子ども達の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを活用した教育を推進します。						
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳	
ICT活用環境整備	ICTを活用した学習を効果的に進めるため、必要なソフトウェアの導入します。 ・学習支援ソフト(ミライシード)使用料 4,620千円 ・中学校テスト採点ソフト使用料 231千円 ・授業目的公衆送信補償金 89千円 ・タブレット修繕料 48千円 ・持ち帰り学習用モバイルルーター貸与 867千円				5,855	ふるさと未来夢基金 4,000、単町1,855	
合計					5,855		
事業の主な実施状況	<p>■ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフト(ミライシード;ベネッセ)を活用した授業を各校で展開しました。子どもたちが自分の考えをまとめたり、グループワーク、課題提出、学習ドリルなどを活用しました。 ・令和7年度のタブレット端末更新を見据えて、新たな学習支援ソフトとして中部自治体での利用が多いロイロノートの導入検討をすすめました。 ・令和6年度から中学校に採点支援ソフトを正式導入したことで、教員の採点業務が軽減されました。 <p>■教職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琴浦町情報担当者研修会を実施し、県DX専門員より校務DXの研修を受けました。あわせて、ロイロノートの導入について担当者より説明を受けました。 <p>■タブレット端末更新の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に予定している学習者用タブレット端末更新にあたり、県・他自治体と共同調達を行うことを決定し、会議・調整を行いました。 ・令和7年3月にプロポーザルにより、ipad導入を決定しました。 						
事業目的の達成状況	担当課による評価			S 目的達成			
	<p>【前年度の課題の概要】 ハード面、ソフト面ともに更新に向けた検討が必要です。学校現場はもとより、近隣自治体も含めた協議を進めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 学校へのアンケート調査を踏まえ、更新するタブレット端末機種をipadに決定し、共同調達を進めました。また、学習支援ソフトの見直しを実施し、中部地区での実績が多い支援ソフトを試験導入し、資料作成の負担を軽減しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 タブレット端末の更新に向けた準備を滞りなく進めることができました。授業でのタブレット活用率が県平均より少ない現状であり、ICT活用に力を入れる必要があります。</p>						
今後の取り組みの方向	更新したタブレット端末を活用し、授業・家庭における更なるICTの利活用について取り組みを推進していきます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1125	事業名	コミュニティスクール推進事業		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	指導係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,496	807	0	239	0	0	568
事業の目的(なんのために)	学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒になって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めます。						
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳	
コミュニティ・スクール推進事業	学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる『地域とともにある学校づくり』を進めました。 町内全校に設置する学校運営協議会の開催や委員研修のほか、各校の実施状況などを共有し意見交換を行う場をつくるなど、学校それぞれの取組を支援しました。 ・学校運営協議会委員報酬 294千円 ・地域コーディネーター報償金 151千円 ・コミュニティスクール研修会等講師謝金 7千円 ・学校支援ボランティア消耗品費 91千円 ・学校支援ボランティア保険料 120千円 ・借上料 144千円				807	県239、町568	
	合計				807		
事業の主な実施状況	<p>■コミュニティ・スクールの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校学校運営協議会長、校長、外部有識者によるコミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の取組状況の共有や意見交換などを行いました。 <p>■学校運営協議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 町立学校全7校に学校運営協議会を設置し、地域や家庭の代表となる委員の皆さんと、めざす子ども像について熟議を重ねました。 10/8義務教育学校について学ぶため、各学校の運営協議会委員、管理職と岡山市の山南学園を視察しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(左) 職員室の様子 (右) 小中学生と一緒に利用する図書館</p> <p>■学校支援ボランティアの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校では、保護者や地域のみなさんに学校支援ボランティアとして、登下校、遠足の見守り、読み聞かせ、家庭科等の学習支援などにご協力いただきました。 						



聖郷小：ボランティアによる学習支援



船上小：ボランティアによる見守り活動



赤碓中：でかける赤中で地域ボランティア

		担当課による評価	S 目的達成
事業目的の 達成状況		<p>【前年度の課題の概要】 「めざす子ども像」に向けて、地域・家庭・学校がそれぞれ、子どもを育てる主体者としての自覚をもち、協働してどのような取り組みを行っていくのか、少しずつ活動が展開されていくと考えます。 各校の情報交換を行う場（町コミュニティ・スクール連絡協議会）や、他地域の事例を学ぶ場（県コミュニティ・スクール推進研修会への参加、県外視察研修）などを設定します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 町コミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の取組についての情報交換、各学校長、会長の意見交換を行う場を設定しました。また、県コミュニティ・スクール推進研修会にも各校から多くの委員が参加し、先進校の取り組みを学びました。R6年度は、各校学校運営協議会委員及び学校管理職により岡山市立山南学園への視察研修も実施しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 年次計画のとおり町内全校での取組みを達成することができました。 地域の特色を生かした、地域・家庭・学校が協働した取り組みが各校で展開されるようになってきました。</p>	
	今後の取り組み の方向	<p>地域とともにある学校づくりに向けた各校の取り組みが一層推進されるように、引き続き各校の情報交換を行う場（町コミュニティ・スクール連絡協議会）や、他地域の事例を学ぶ場（県コミュニティ・スクール推進研修会への参加など）などを設定します。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1476	事業名	共同学校事務室	会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	849	729	0	0	0	0	729
事業の目的 (なんのために)							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳
共同学校事務室	学校事務の平準化、業務処理の効率化、適正化及び教職員の負担軽減を図るため、共同学校事務室を東伯中学校に設置しました。 ・通信運搬費 6千円 ・使用料 401千円 ・印刷製本費 135千円 ・消耗品費 66千円 ・筆耕料 121千円					729	単町
合計						729	
事業の主な実施状況	■共同事務の実施 ・学校事務職員が東伯中学校に月3日程度参集し、集中業務や各校での業務確認などを行いました。 ・加配事務職員が各校を巡回、財務システムによる起票等の業務支援を行いました。						
事業目的の達成状況	担当課による評価		S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 学校事務の共同実施による平準化を進め、更なる効率化を図るため検討を行います。 【前年度課題についての対応及び成果】 学校事務の共同実施を進め、事務の平準化を図りました。 共同事務を行うことで、新規配置された事務職員のOJTによる人材育成に効果がありました。 【担当課による評価の理由】 システム活用や事務の平準化により、業務負担が軽減されました。						
今後の取り組みの方向	引き続き、学校事務の共同実施による事務作業の効率化と人材育成に取り組みます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	256等	事業名	一般経常経費 (小学校)		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
		重点事業					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	96,459	83,932	1,815	0	477	14,600	67,040
事業の目的 (なんのために)	小学校の運営を円滑にするために施設維持及び整備、環境整備を行う。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
小学校施設管理 【改善】	学校施設の適切な維持管理を行いました。 ・八橋小学校空調新設・更新工事 9,823千円 ・八橋小学校空調設備設計委託料 572千円 ・浦安小学校倉庫解体工事 4,620千円 ・浦安小学校倉庫解体工事設計委託料 1,760千円 ・光熱水費 7千円 ・小学校施設修繕料 5,780千円 ・手数料 284千円 ・火災保険料 1,036千円 ・警備、消防、電気設備施設管理委託料 2,614千円 ・学校環境管理委託料 2,438千円 (芝、剪定、防虫、除草、トイレ、除雪、伐採等) ・複合機、印刷機等リース料 1,953千円 ・テレビ受信料 74千円 ・備品購入費 585千円			31,546	国1,815、過疎債8,500、合併特例債6,100、町15,131		
保健衛生関係	児童の健康診断及び学校環境衛生検査を実施しました。 ・嘱託医報酬 1,999千円 ・消耗品費 269千円 ・オージオメーター校正点検手数料 97千円 ・児童健康診断手数料(尿・心電図) 552千円 ・スポーツ振興センター共済負担金 713千円			3,630	その他477、町3,153		
通学支援事業	通学が遠距離になる児童に対し、スクールバスの運行による支援を行いました。 ・スクールバス運行管理業務委託料 11,488千円			11,488	単町		
八橋小学校	八橋小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,185千円 ・燃料費 18千円 ・印刷製本費 21千円 ・光熱水費 5,225千円 ・修繕料 207千円 ・通信運搬費 229千円 ・手数料 389千円 ・使用料 305千円 ・備品購入費 95千円			7,674	単町		
浦安小学校	浦安小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,578千円 ・燃料費 59千円 ・光熱水費 5,097千円 ・修繕料 158千円 ・通信運搬費 313千円 ・手数料 530千円 ・使用料 191千円 ・備品購入費 475千円			8,401	単町		
聖郷小学校	聖郷小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,015千円 ・燃料費 10千円 ・光熱水費 4,939千円 ・修繕料 124千円 ・通信運搬費 242千円 ・手数料 410千円 ・使用料 112千円 ・備品購入費 200千円			7,052	単町		

赤碕小学校	赤碕小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,084千円 ・燃料費 20千円 ・光熱水費 5,616千円 ・修繕料 208千円 ・通信運搬費 270千円 ・手数料 380千円 ・使用料 228千円	7,806	単町
船上小学校	船上小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,001千円 ・燃料費 30千円 ・光熱水費 4,154千円 ・修繕料 196千円 ・通信運搬費 240千円 ・手数料 458千円 ・使用料 99千円 ・備品購入費 157千円	6,335	単町
合計		83,932	

事業の主な実施状況	<p>■八橋小学校の空調新設・更新</p> <p>・老朽化した多目的室、校長室、保健室の空調を更新し、パントリーに空調を新設しました。</p>	
		
<p>(左) 多目的室 (右) パントリー</p>		
事業目的の達成状況	<p>■浦安小学校の倉庫解体</p> <p>・老朽化した浦安小学校の木造倉庫を解体するための設計業務を行いました。倉庫解体工事及び再設置工事については、R7年度繰越事業となりました。</p>	
	<p>■各小学校の修繕（主なもの）</p> <p>・浦安小学校電気時計親機取替業務 ・浦安小学校エアコン修繕業務 ・聖郷小学校プールろ過装置修繕業務</p> <p>・八橋小学校理科室カーテン取替業務 ・八橋小学校女子トイレ建具修繕業務 ・八橋小学校エアコン修繕業務</p> <p>・船上小学校校内放送設備更新業務</p> <p>■各小学校の備品（主なもの）</p> <p>・学習者用机・椅子（全体） ・消火栓ホース（全体）</p> <p>・浦安小学校側板付椅子 ・聖郷小学校大型ディスプレイ</p>	
今後の取り組みの方向	担当課による評価	S 目的達成
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>年次計画による空調等の設備更新等、適切な維持管理を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら適切な維持管理に努めました。年次計画に基づき八橋小学校の空調更新・新設を行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>施設管理に起因する事故等の発生はなく、適切な維持管理を行うことができました。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	262等	事業名	一般教育振興費（小学校）			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続			
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費			
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進					
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度	43,843	42,393	707	113	14,549	6,900	20,124		
事業の目的 (なんのために)	教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指します。								
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳		
指導書・備品等購入事業 【新規】	令和6年度小学校教科書改訂に伴い、教師用指導書及びデジタル教科書を導入しました。 ・備品購入費 19,881千円 寄附金を活用して、各学校に必要な備品を整備しました。 ・備品購入費 1,340千円					21,241	寄附金1,312、ふるさと未来夢基金10,000、町9,929		
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行いました。 ・就学援助費 8,084千円 ・特別支援教育就学奨励費 1,415千円					9,499	国707、過疎債6,900、ふるさと未来夢基金1,800、町92		
教育活動等助成	教育振興のため各種補助金等による支援を行いました。 ・校外活動引率者旅費 1千円 ・修学旅行引率者補助金 39千円 ・バス借上料 698千円 ・負担金 8千円 ・インターネット使用料 396千円					1,142	単町		
文化芸術事業	児童へ文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。 ・巡回公演委託料 453千円					453	単町		
琴浦Myスター☆事業 【新規】	それぞれの学校独自のふるさと教育を通じて、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育みました。 ・報償金 52千円 ・消耗品費 2千円 ・借上料 400千円					454	県113、町401		
八橋小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 16千円 ・消耗品 584千円 ・修繕料 102千円 ・手数料 393千円 ・備品購入費 31千円 ・図書購入費 629千円 ・通級指導教室消耗品費 74千円 ・通級指導教室費便購入費 35千円					1,864	単町		
浦安小学校	児童及び教職員に対して講演会及び研修会を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 183千円 ・消耗品費 760千円 ・修繕料 106千円 ・手数料 548千円 ・備品購入費 196千円 ・図書購入費 881千円					2,674	単町		
聖郷小学校	児童及び教職員に対して講演会及び研修会を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償費 11千円 ・消耗品 428千円 ・修繕料 105千円 ・手数料 255千円 ・備品購入費 158千円 ・図書購入費 368千円					1,325	門脇教育図書基金367、町958		
赤碕小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 205千円 ・消耗品費 567千円					2,059	赤碕地区小学校図書基金670、町1,389		

	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 27千円 ・手数料 460千円 ・備品購入費 129千円 ・図書購入費 671千円 		
船上小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・報償金 182千円 ・消耗品費 474千円 ・修繕料 98千円 ・手数料 266千円 ・備品購入費 197千円 ・図書購入費 465千円 	1,682	赤碓地区小学校図書基金 400、町1,282
合計		42,393	

■琴浦Myスター☆の取組み



八橋小：あごかつカレーバーガーづくり



浦安小：顕鑑賞の取り組み



聖郷小：牛乳の美味しさのヒミツ発見



赤碓小：国際交流のまちづくりを学ぶ



船上小：20世紀梨の栽培体験学習

事業の主な
実施状況

■各小学校の備品（主なもの）

- ・八橋小学校コースロープ（寄付）
- ・浦安小学校ディスプレイ（寄付）
- ・聖郷小学校プロジェクタ、モニター（寄付）
- ・赤碓小学校ジェットヒーター（寄付）
- ・船上小学校サッカーゴール（寄付）



事業目的の
達成状況

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

全ての学校がコミュニティ・スクールとなり、各校でさらに地域の方とともにふるさと教育の取組みを検討していくこととされています。

【前年度課題についての対応及び成果】

令和6年度より琴浦町のふるさと教育を体系化し、さらに発展させるため「琴浦Myスター☆」とネーミングして、地域の特性を活かした取組みについて各校で進めました。

	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>「琴浦Myスター☆」の初年度として、各校独自の課題解決の取組み、各校の特徴的な取組みを行うことができました。また、「琴浦Myスター☆」周知のため、広報ことうらに各校の取組みを掲載しました。</p>
<p>今後の取組み の方向</p>	<p>「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成をすすめていきます。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	277等	事業名	一般経常経費（中学校）		会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額		事業費財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度	96,142	0	0	167	0	33,025		
事業の目的 (なんのために)	中学校の運営を円滑にするために施設維持及び整備、環境整備を行います。							
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳			
中学校施設管理 【改善】	学校施設の適切な維持管理を行いました。 ・ 東伯・赤碕中空調更新工事 0千円 (R7繰越) ・ 同 設計委託料 0千円 (R7繰越) ・ 赤碕中学校高圧ケーブル更新業務 0千円 (R7繰越) ・ 中学校施設修繕料 3,463千円 ・ 手数料 277千円 ・ 火災保険料 778千円 ・ 警備、消防、電気、エレベータ等保守委託料 2,407千円 ・ 学校施設環境管理委託料 1,204千円 (芝、剪定、防虫、除草、清掃、除雪等) ・ 東伯中プール修繕調査委託料 154千円 ・ 複合機、印刷機等リース料 758千円 ・ テレビ受信料 29千円 ・ 備品購入費 506千円			9,576	単町			
保健衛生事業	生徒の健康診断実施や学校環境衛生検査を実施しました。 ・ 嘱託医報酬 728千円 ・ 消耗品費 49千円 ・ 生徒健康診断 (尿・心電図) 298千円 ・ オージオメーター校正点検手数料 39千円 ・ スポーツ振興センター共済負担金 390千円			1,504	その他167、町1,337			
東伯中学校	東伯中学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・ 消耗品 1,339千円 ・ 燃料費 164千円 ・ 印刷製本費 24千円 ・ 光熱水費 8,761千円 ・ 修繕料 94千円 ・ 通信運搬費 416千円 ・ 手数料 473千円 ・ 使用料 219千円 ・ 備品購入費 833千円			12,323	単町			
赤碕中学校	赤碕中学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・ 消耗品費 1,256千円 ・ 燃料費 80千円 ・ 印刷製本費 39千円 ・ 光熱水費 6,901千円 ・ 修繕料 142千円 ・ 通信運搬費 308千円 ・ 手数料 390千円 ・ 使用料 259千円 ・ 備品購入費 413千円			9,789	単町			
合計				33,192				
事業の主な実施状況	■各中学校の修繕（主なもの） ・ 東伯中学校家庭科室給湯器取替業務 ・ 東伯中学校消防制御盤取替業務 ・ 東伯中学校廊下ミラー設置業務 ・ 赤碕中学校防球ネット撤去業務 ・ 赤碕中学校キューピクル塗装等業務 ・ 赤碕中学校エレベータドア気密材交換業務 ・ 赤碕中学校柱上気中開閉器更新工事 ■各中学校の備品（主なもの） ・ 学習者用机・椅子（全体） ・ 会議室用机・椅子（全体）							

	<ul style="list-style-type: none"> ・東伯中学校職員用事務机・椅子 ・東伯中学校美術教室用机 ・赤碕中学校職員用事務椅子 	
	担当課による評価	S 目的達成
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 年次計画による空調等の設備更新等、適切な維持管理を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら適切な維持管理に努めました。年次計画に基づき東伯・赤碕中学校の空調更新に取りかかることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 施設管理に起因する事故等の発生はなく、適切な維持管理を行うことができました。</p>	
今後の取り組みの方向	年次計画に基づき空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	280等	事業名	一般教育振興費（中学校）			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係			□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費		目	2 教育振興費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進					
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					町債	一般財源
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)				
令和6年度	30,944	25,758	476	152	3,700	8,100	13,330		
事業の目的 (なんのために)	教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指します。								
細事業等	内容						決算額 (千円)	財源内訳	
琴浦Myスター☆事業 【改善】	それぞれの学校独自のふるさと教育を通じて、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育みました。 ・報償金 58千円						58	単町	
備品等購入事業 【新規】	寄附金を活用して、各学校に必要な備品を整備しました。 ・備品購入費 572千円						572	寄附金572	
部活動指導支援事業	地域の専門的指導者を外部指導者として部活動に派遣しました。 ・部活動外部指導者報償金 300千円 ・保険料 4千円						304	県152、町152	
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行いました。 ・就学援助費 9,561千円 ・特別支援教育就学奨励費 953千円						10,514	国476、過疎債8,100、ふるさと未来夢基金450、町1,488	
教育活動等助成	教育振興のため各種補助金等による支援を行いました。 ・英語検定料補助金 71千円 ・修学旅行引率者補助金 251千円 ・大会派遣補助金 998千円 ・バス借上料 1,942千円 ・負担金 184千円 ・インターネット利用料 158千円						3,604	ふるさと未来夢基金950、町2,654	
通学支援事業	通学が遠距離になる生徒に対し、町営バス補助金等による支援を行いました。 ・遠距離通学補助金 1,672千円 ・スクールバス臨時運行業務委託料 66千円						1,738	単町	
東伯中学校	生徒及び教職員に対して講演会や研修会を実施及び学習や通級指導教室に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 74千円 ・消耗品費 1,490千円 ・修繕料 338千円 ・手数料 1,010千円 ・保険料 27千円 ・備品購入費 581千円 ・図書購入費 1,601千円 ・通級指導教室消耗品費 39千円 ・通級指導教室備品購入費 24千円						5,184	ふるさと未来夢基金1,500、町3,684	
赤碕中学校	生徒に対して講演会を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 6千円 ・消耗品費 1,122千円 ・修繕料 154千円 ・手数料 684千円 ・保険料 16千円 ・備品購入費 665千円 ・図書購入費 1,137千円						3,784	ふるさと未来夢基金800、町2,984	
合計							25,758		
事業の主な実施状況	■琴浦Myスター☆の取組み								

東伯中学校



CHACHACHAプログラム



わくわく東伯



ふるさとキャリアCMコンテスト

赤碕中学校



わくわく赤碕



鳥の劇場ワークショップ



地域課題を学ぶ学習

■備品整備（主なもの）

- ・東伯中学校クラリネット ・赤碕中学校ユーフォニアム
- ・東伯中学校ポータブルPAシステム（寄付） ・赤碕中学校ジェットヒーター（寄付）



担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

全ての学校がコミュニティ・スクールとなり、各校でさらに地域の方とともにふるさと教育の取組みを検討していくこととしています。

【前年度課題についての対応及び成果】

令和6年度より琴浦町のふるさと教育を体系化し、さらに発展させるため「琴浦Myスター☆」とネーミングして、地域の特性を活かした取組みについて各校で進めました。

【担当課による評価の理由】

「琴浦Myスター☆」の初年度として、各校独自の課題解決の取組み、各校の特徴的な取組みを行うことができました。また、「琴浦Myスター☆」周知のため、広報ことうらに各校の取組みを掲載しました。

今後の取り組みの方向

「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成をすすめていきます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1651	事業名	中学生国際交流事業		会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		■新規 □継続		
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	2,839	2,641	0	0	1,500	0	1,141	
事業の目的 (なんのために)	台湾の中学校との相互交流により、国際理解を深める足がかりとします。							
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳		
中学生国際交流事業 【新規】	東伯・赤碕中学生と台中市日南国民中学校の生徒がそれぞれの学校を相互訪問し、ホームステイによる交流体験を行いました。 ・旅行手配委託業務 1,602千円 ・通訳、コーディネーター謝礼 314千円 ・ホストファミリー謝礼 240千円 ・食糧費(歓迎夕食会等) 202千円 ・その他消耗品費等 283千円				2,641	ふるさと未来夢基金 1,500、単町1,141		
合計					2,641			
事業の主な実施状況	<p>■日南中への生徒派遣 日程 2024年7月31日(水)～8月4日(日) 4泊5日 人数 生徒8名(東伯中6、赤碕中2)、引率4名(教育長、東伯中学校長、赤碕中学校長、教育総務課長)、通訳1名 (1) 友好交流校協定の締結</p>							
								
(2) 日南国民中学での交流の様子								
								
								

■日南国民中学の生徒受入
 日程 2025年2月12日（水）～2月16日（日）4泊5日
 人数 生徒9名、引率4名（日南中校長、教諭）、通訳1名



	担当課による評価	S 目的達成
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】	
	【前年度課題についての対応及び成果】	
今後の取り組み の方向	【担当課による評価の理由】 令和6年7月に台中市立日南国民中学に8人の生徒を派遣し、令和7年2月には日南国民中学から9人の生徒を受入れました。交流体験を通じて、外国の文化を身近に感じ、英語を用いたコミュニケーションの機会を創出することができました。	
	引き続き、相互交流事業により国際理解を深めるきっかけづくりを進めます。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	353	事業名	学校給食事業		会計区分	一般会計														
担当課	教育総務課		担当係	学校給食センター		□新規 ■継続														
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	4 給食センター運営費														
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開																		
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳																	
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源													
令和6年度	315,303	225,162	0	341	10,000	49,900	164,921													
事業の目的(なんのために)	児童生徒の心身の健全な発達のため、バランスのとれた栄養豊かな給食を提供するとともに、「食を通して生きる力を育む」ことを目的に、教育の一環として実施します。																			
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳													
学校給食用物資購入費	<ul style="list-style-type: none"> 給食用食材費 90,092千円 安心安全な給食を町内各学校の児童生徒等に提供するため、給食用物資を購入しました。 年間総提供数 246,207食 年間提供日数 196日 					90,092	学校給食費74,356、ふるさと未来夢基金9,000、企業版ふるさと納税1,000、町5,736													
給食調理業務等委託料	<ul style="list-style-type: none"> 調理業務等委託料 49,390千円 委託内容：副食調理、配缶、食材検収保管、食器食缶・調理機器洗浄消毒等 委託期間：令和3年度～令和7年度 					49,390	単町													
給食配送業務委託料	<ul style="list-style-type: none"> 給食配送委託料 12,783千円 委託内容：各学校への給食の配送、車両の点検整備等 委託期間：令和3年度～令和7年度 					12,783	単町													
調理室内床補修工事、施設・設備の年次的更新	<ul style="list-style-type: none"> 調理室内床補修工事 13,969千円 設計料 132千円 補修工事費 13,837千円 加圧給水ポンプ取替業務 2,134千円 コンテナ 6,738千円 冷却機器類 10,967千円 電気式フライヤー 16,500千円 					50,308	県341、過疎債49,900、町67													
学校給食センター維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食運営審議会委員報償金 6千円 施設管理消耗品 676千円 給食用食器等補充 825千円 燃料費、光熱水費 14,382千円 調理設備修繕料 1,638千円 通信運搬費 120千円 汚泥運搬、検査等手数料 733千円 火災保険料 96千円 自動車保険料 15千円 施設保守管理委託料 2,802千円 (消防、電気、警備、害虫防除、調理機器、空調設備等) 下水道等使用料 1,158千円 公用車リース料 138千円 					22,589	単町													
合計						225,162														
事業の主な実施状況	<p>■年間を通して米飯またはパン、牛乳、副菜の完全給食を実施しました。</p> <p>物価高騰に伴う単価増額は町負担とし、保護者負担を据置きとしました。</p> <p>調理業務、配送業務は民間事業者のノウハウを活用し、安心安全な給食の提供を行いました。</p> <p>また、必要に応じてアレルギー対応食の提供を行いました。(アレルギー対応 25人 22品目)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>給食費</td> <td>保護者負担</td> <td>町負担</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>324円</td> <td>285円</td> <td>39円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>368円</td> <td>326円</td> <td>42円</td> </tr> </table> <p>■食育の取り組み</p> <p>「食育だより」等により食に関する知識や習慣などの情報発信に努めました。</p>									給食費	保護者負担	町負担	小学校	324円	285円	39円	中学校	368円	326円	42円
	給食費	保護者負担	町負担																	
小学校	324円	285円	39円																	
中学校	368円	326円	42円																	

学校と給食センターが連携し、各小中学校で食育指導等を行いました。

地元産品を活用した「琴浦Myスター☆給食」を3回実施し、児童生徒に町の魅力を発信しました。

その際、浦安地区公民館では学校給食試食会が実施され、また町内団体による給食コラボ弁当が販売されました。



■給食センター設備更新の取り組み

調理室床補修工事や調理機器などの更新を行いました。



調理室床補修工事



真空冷却器・冷凍冷蔵庫



加圧給水ポンプ取替工事



電気式連続フライヤー



給食配送コンテナ

■『めざせ給食マイスター！100人分の給食調理体験会』の取り組み

通常は関係者以外立ち入りできない給食施設を使って大量調理を行うことで、給食作りにおける衛生管理やチームワークの大切さを体感してほしいと初めて開催しました。

日頃お世話になっている栄養職員や調理員の方々の温かさや願いに触れる機会にもなり、参加した児童生徒、保護者からも好評の催しとなりました。

日 時	令和6年7月20日(土) 9:00~13:00
対 象	町内の小学校4~6年生及び中学生
参加者	24名(小学生 12名、中学生 1名、保護者 11名)



事業目的の達成状況

担当課による評価

S 目的達成

【前年度の課題の概要】

	<p>年次計画により、必要な機器更新等を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 調理機器等の更新計画を作成するとともに、機器の故障等への速やかな対応を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 年間を通して安心して安全な給食を提供することができました。 調理委託業者や機器の点検業者等と連携し、スケジュールどおりに調理機器等の更新を行うことができました。</p>
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>令和8年度からの給食調理業務、給食配送業務の委託契約について見直しを行い、安全な給食の安定提供に努めます。</p>

令和6年度決算 事業体系図

所属名： 社会教育課

(単位：千円)

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
2	1	5	817	カウベルホール管理	2,030	2,029
			小計		2,030	2,029
9	4	1	292	社会教育振興	1,662	1,415
			303	青少年育成啓発事業	45	45
			309	次世代ことうらっ子育み推進事業	1,773	1,455
			587	無盡庵管理	134	124
			小計		3,614	3,039
9	4	2	320	一般管理	1,724	1,692
			674	赤碓地区公民館事業	1,889	1,614
			675	安田地区公民館事業	171,278	170,847
			676	成美地区公民館事業	2,084	1,801
			677	以西地区公民館事業	104,345	2,562
			678	八橋地区公民館事業	3,178	2,443
			679	浦安地区公民館事業	8,148	7,476
			680	下郷地区公民館事業	2,217	2,061
			681	上郷地区公民館事業	1,637	1,596
			682	古布庄地区公民館事業	1,391	1,382
			小計		297,891	193,474
9	4	3	321	町内文化財保護事業	3,631	2,738
			323	民俗資料館管理	159	148
			1440	特別史跡斎尾庵寺跡指定地買上げ事業	1,697	1,100
			小計		5,487	3,986
9	4	4	324	町内遺跡発掘調査事業	2,431	2,406
			小計		2,431	2,406
9	4	5	325	生涯学習センター管理費	517,595	430,983
			小計		517,595	430,983
9	4	6	329	図書館活動費	20,000	19,640
			小計		20,000	19,640
9	4	7	311	文化振興事業	2,689	1,331
			小計		2,689	1,331

9	教育費	5	保健体育費	1	保健体育総務費	333	一般管理	139	73
						小計		139	73
9	教育費	5	保健体育費	2	体育振興費	1483	スポーツ・運動推進事業	22,207	15,599
						小計		22,207	15,599
9	教育費	5	保健体育費	3	体育施設費	349	社会体育利用施設管理	3,485	2,489
						350	平岩記念会館管理運営	1,304	1,292
						351	東伯総合公園管理事業	20,746	19,760
						417	農業者トレーニングセンター運営	3,160	2,189
						418	赤碓総合運動公園管理	6,551	6,357
						1627	東伯総合公園改修事業	176,297	171,931
						小計		211,543	204,018
所属合計							1,085,626	876,578	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	817	事業名	カウベルホール管理	会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続	
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	5 財務管理費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑤ 公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,030	2,029	0	0	248	0	1,781
事業の目的 (なんのために)	カウベルホールの施設の維持管理を行います。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
需用費	光熱水費 1,111千円 修繕料 153千円			1,264	その他収入248 町1,016		
役務費	防火管理者講習受講代金 4千円 火災保険料 79千円			83	単町		
使用料	下水道使用料 110千円			110	単町		
委託料	機械警備(火災監視)委託料 53千円 消防用設備点検 231千円 地下オイルタンク点検委託料 88千円 電気保安業務委託料 200千円			572	単町		
	合計			2,029			
事業の主な実施状況	カウベルホール施設の維持管理を行いました。						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	【前年度の課題の概要】 特になし						
	【前年度課題についての対応及び成果】 特になし						
	【担当課による評価の理由】 必要な法定点検を行い、適切に管理を行いました。						
今後の取り組みの方向	普通財産として今後の施設のあり方や活用について検討していくため、令和7年度より総務課に所管が変更になりました。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	292	事業名	社会教育振興		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,662	1,415	0	0	0	0	1,415
事業の目的 (なんのために)	「学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり」を推進します。(社会教育における地方公共団体の任務〔学び・教え合いの奨励による住民自ら課題解決に向けて高め合う機運の醸成〕と生涯学習の理念〔豊かな人生〕のイメージの具現化を目指します。)						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
一般管理	社会教育施設管理にかかる経費、公用車管理等を行いました。			818	単町		
青少年健全育成協議会補助金	町青少年健全育成協議会が青少年の健全育成を図るために行う会員研修や事業実施を支援しました。補助率10/10 上限256千円			45	単町		
社会教育委員報酬	社会教育施策全般について審議するため社会教育委員会を開催しました。メンバー：社会教育団体(婦人会、文化協会、PTA)の代表、学校長、スポ推、地域活動者など。令和6年度は1回開催しました。(6名出席)			12	単町		
各団体負担金	県社会教育協議会等負担金を支払いました。			140	単町		
町連合婦人会補助金	町内でのこども食堂の実施、こども園等での食育普及活動、高齢化社会や環境浄化への対応、地域福祉の増進を図るために、町連合婦人会が実施した会員研修や事業を支援しました。補助率10/10。上限340千円。			289	単町		
教養講座	まなびタウン教養講座・寿大学での講座を実施しました。			55	単町		
文化協会補助金	赤碕文化協会・東伯文化協会が団体や会員の相互の連携を保ちながら郷土発展に寄与することを目的とした活動を支援しました。補助率 10/10。上限28千円/団体			56	単町		
合計				1,415			
事業の主な実施状況	<p>① 琴浦町社会教育委員会の開催 委員報酬 12千円 3月に開催。本町の社会教育行政に係る意見交換を行い、助言を求めました。</p> <p>② 教養講座等の開催 講師謝金 55千円 まなびタウン教養講座(3回開催、延べ46人参加) 寿大学(10回開催、延べ220人参加)</p> <p>③ 補助金交付 390千円 町内で活動する社会教育関係団体に補助金を交付し、地域住民役の地域学習活動推進を奨励・支援しました。 交付団体：東伯文化協会、赤碕文化協会、町連合婦人会、町青少年健全育成協議会の4団体</p> <p>④ その他経費 関係団体負担金 140千円 消耗品、燃料費、修繕費、手数料等 818千円</p> <p>まなびタウン教養講座の様子</p>						
	 						
事業目的の達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない			
<p>【前年度の課題の概要】 コロナ禍以降の生活様式の変化などを踏まえ、社会教育団体の活動がさらに発展・充実していくよう支援が必要です。社会教育委員会などで、町の教育行政の進め方について意見を聴取し、事業に反映させる必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p>							

	<p>社会教育団体の活動が充実していくよう他の補助金や取組などを紹介しましたが、活動の充実や発展には至りませんでした。社会教育委員会にて委員と意見交換を行い、事業に対する意見の反映を検討することとなりました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 社会教育団体に対する支援を行いましたが、依然として会員数が増加したり活動の充実につながらなかったことにより「B進展が大きくない」と評価しました。</p>
今後の取り組み の方向	社会教育団体の活動が継続・発展していけるよう、引き続き補助金交付・助言等による支援を行います。教養講座を定期的に開催し、町民に生涯学習の機会を提供します。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	303	事業名	青少年育成啓発事業	会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	45	45	0	0	0	0	45
事業の目的 (なんのため に)	青少年の自主的な地域活動の促進と、地域における青少年の健全育成を実現するため、子ども会活動支援、ジュニアリーダーの養成を行います。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
子ども会活動支援事業	次年度の子ども会リーダーと育成者対象の研修会を開催しました。単子子ども会が成立しないところについては、地区公民館単位で子ども会活動を行っていることを把握し、今後の取り組みにつなげるきっかけとなりました。 ○子ども会リーダー研修会 開催日 3月2日(日) 参加人数 子ども会リーダー13人、育成者12人 ・講師謝金 30千円 ・消耗品 15千円			45	単町		
合計				45			
事業の主な 実施状況	次年度子ども会のリーダーとなる 小学5・6年生と、育成者を対象に、子ども会リーダー研修会を開催し、子どもの手による子ども会についてのお話やレクリエーション、危険予知トレーニングについて研修しました。 参加者：子どもリーダー13人、育成者12人  子ども会リーダーを対象とした研修 育成者を対象とした研修						
事業目的の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない			
	【前年度の課題の概要】 少人数により活動ができない子ども会に対して、活動状況の聞き取りや、少人数でも活動ができる提案や支援ができる研修会が必要です。						
	【前年度課題についての対応及び成果】 少人数により活動ができない子ども会に対しての活動状況の聞き取りや、少人数でも活動ができる提案や支援ができる研修会は開催できませんでしたが、子ども会リーダー研修会の育成者の部会では、参加された育成者同士で単子子ども会の活動紹介ができました。						
今後の取り組み の方向	【担当課による評価の理由】 単子子ども会活動ができないところに対して、活動状況の聞き取りや、少人数でも活動できる提案や支援ができなかったため、「B進展が大きくない」と判断しました。						
今後の取り組み の方向	単子子ども会に対してアンケートをとり、活動状況や悩み等の実態調査を実施し、今後の活動の参考となる資料を作成し子ども会に配布します。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	309	事業名	次世代ことうらっ子育み推進事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,773	1,455	0	970	0	0	485
事業の目的 (なんのために)	体験教室を通じた世代間交流や、ふるさとの自然や歴史の学びを通して、子どもの心身・想像力・生きる力、ふるさとを愛する心を育てます。地域住民の参画を得て、子どもたちの学校以外の居場所を確保し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
ことうら子どもパーク	ものづくり体験教室を通して、子どもの想像力・生きる力・科学や技術を学ぼうとする力を育成しました。20回開催。運営委員会へ委託。 内容 工作、手芸、調理、実験等。 対象 小学生 ・委託費 696千円			696	県2/3、町1/3		
放課後子ども教室	地区公民館で放課後等に地域住民の見守りのもと、子どもが安心して活動できる場を提供しました。学習や遊びなどを通して地域住民との交流を図りました。 〔成美地区公民館〕みちくさクラブ 毎週水曜日の放課後 5月～3月(長期休暇、祝祭日は休み) 〔赤碕地区公民館〕水曜よりみちクラブ 第1,3,5水曜日の放課後 5月～3月(長期休暇、祝祭日は休み) ・報償費 271千円 ・消耗品費 36千円			307	県2/3、町1/3		
琴浦こども塾	昔の人の生き方や教えに学びながら、地域の歴史・文化を通じた体験活動により、人間力・実行力のある人材育成に取り組みました。 年間17回開催。運営委員会へ委託。 対象 小学4年生～中学1年生 委託料 410千円			410	県2/3、町1/3		
家庭教育講座	乳幼児期・児童期の子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育講座を開催し、子育ての支援を行いました。 回数 小学校2回、公民館1回 内訳 講師謝金(小学校)15,000円×2回、(公民館)12,000円			42	県2/3、町1/3		
合計				1,455			
事業の主な実施状況	<p>①放課後子ども教室 307千円(報償金、消耗品費)</p> <p>週に2回、放課後に地域住民の参画を得て学習・体験活動(スポーツ、遊び、野菜作り、ものづくり等)を実施しました。</p> <p>〔成美地区公民館〕みちくさクラブ 参加児童数：年間延べ 527人、36回</p> <p>〔赤碕地区公民館〕水曜よりみちクラブ 参加児童数：年間延べ 190人、13回</p> <p>②家庭教育講座 42千円(報償金)</p> <p>町内小学校2校、地区公民館1館と連携し、保護者を対象とした講座を開催しました。</p> <p>③ことうら子どもパーク 696千円(委託料)</p> <p>ことうら子ども運営委員会へ委託し、ものづくりの体験教室を年間20回開催しました。</p> <p>参加児童数：年間延べ 248人(平均 12人/回)</p> <p>④琴浦こども塾 410千円(委託料)</p> <p>琴浦こども塾運営委員会へ委託し、昔の人の生き方や教えに学びながら、礼儀作法や地域の自然・歴史を通じた体験活動を実施しました。</p> <p>令和6年度塾生：21人</p>						

開催日：毎月第1,3土曜日 年間回数：17回（平均 12人/回）



放課後子ども教室（赤碕水曜よりみちクラブ） ことうら子どもパーク（お弁当作り）

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①放課後子ども教室は、赤碕地区公民館の水曜よりみちクラブを再開し、子どもの居場所づくりを進めます。 ②乳幼児期・児童期の保護者を対象に家庭教育講座を開催し、家庭での子育て支援に取り組みます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①放課後子ども教室は、赤碕地区公民館の水曜よりみちクラブを再開し、子ども支援員や参加者児童との関わりにより自分に合った居場所づくりに取り組みました。 ②家庭教育講座を、小学校2回、公民館1回実施し、家庭での子育て支援に取り組みました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>①10月から地区での放課後子ども教室を再開し、子ども支援員が子どもとの関わりを積極的に行い、子どもの成長に合わせた対応で子どもたちが楽しみに参加できる居場所づくりを進めました。 ②家庭教育講座については、開催回数は昨年度より少なかったですが、新たに地区公民館を会場とした講座を開催することができ、学びを提供する場を小中学校以外にも広げることができました。 ③ことうら子どもパークでは、年間20回のものづくり教室を開催し、弁当作りやお菓子作り等日常生活でも活用できる内容に取り組みました。 ④琴浦こども塾では、地域の人から自然や歴史、環境について学び、茶道を通して礼儀作法にも取り組みました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>①放課後子ども教室では、成美みちくさクラブを新しい施設で再開できるように、学校から公民館への通所経路の検討や受入れ体制を整備し、準備を進めます。 ②家庭教育については、講座の充実とともに今後の取組について多方面で意見を聞き、方向性を検討します。 ③ことうら子どもパークでは、委員の確保や内容の精査に努め、子どもの参加人数やものづくり体験の場を増やします。 ④琴浦こども塾は、開塾して約10年が経過するため、琴浦の子どもに必要なビジョンを見直し今後の方向性を検討します。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	587	事業名	無盡庵管理		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源
令和6年度	134	124	0	0	0	0	124
事業の目的 (なんのために)	地域住民の交流施設「無盡庵」として親しまれている旧桐谷家住宅の維持管理を行います。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
維持管理事業	消耗品費	1千円			124	単町	
	光熱水費	76千円					
	建物災害共済保険料	6千円					
	清掃委託料	15千円					
	下水道使用料	26千円					
	合計				124		
事業の主な 実施状況	<p>地域住民の交流施設「無盡庵」として親しまれている旧桐谷家住宅の維持管理を行いました。</p>  <p>無盡庵</p>						
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	<p>【前年度の課題の概要】 築120年ほどの建物のため、建付け等が悪くなっている箇所があり、施設を適切に管理するため、定期的な見回り、点検を行う必要があります。</p>						
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 月に1回程度の見回り、点検を実施しました。また、2ヶ月に1度清掃を委託し、適切な管理に努めました。</p>						
	<p>【担当課による評価の理由】 見回り、点検を行い、利用者に不便をかけないように心掛けました。</p>						
今後の取り組み の方向	引き続き適時の維持管理を行います。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	320	事業名	一般管理	会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,724	1,692	0	0	0	0	1,692
事業の目的 (なんのために)	各地区の自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。また、施設の適切な修繕と管理を行い、住民に安心・安全な学習環境を提供します。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
9地区公民館施設修繕にかかる経費	公民館の適切な管理・修繕を行いました。 主な修繕 ・赤碕地区公民館 大会議室照明修繕 70千円 ・浦安地区公民館 屋根ガラス修繕 62千円 ・古布庄地区公民館 雨漏修理 44千円			506	単町		
9地区公民館清掃作業にかかる経費	トイレ・館内清掃 259千円 除草剤散布・剪定作業等委託料 42千円 清掃手数料他 69千円			370	単町		
9地区公民館保険料	「公民館総合補償制度」(行事傷害補償制度M型)への9地区分の掛金。			774	単町		
除雪機保険にかかる経費	除雪機保険(下郷・古布庄・成美・以西)			42	単町		
合計				1,692			
事業の主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、町内9地区に公民館を設置、館長・主事を配置し、各種事業展開を通じて目的達成に努めました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>卓球大会 (赤碕地区公民館)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>公民館まつり (下郷地区公民館)</p> </div> </div>						
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	【前年度の課題の概要】						
	【前年度課題についての対応及び成果】						
今後の取り組み の方向	【担当課による評価の理由】						
	各地区公民館の適切な維持管理と活動支援が行えたと判断し、A評価としました。						
各地区の公民館での活動が安心・安全に実施できるよう保険加入や施設の適切な維持管理に努めます。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			② 誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり			
	重点事業 ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,889	1,614	0	0	17	0	1,597
事業の目的 (なんのために)	赤碕地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決を図ります。						
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人					222	単町
施設内修繕	水栓ハンドル修繕、消防設備誘導灯表示板取替、屋外防水ベル取替 ・修繕料 152千円					152	単町
公民館活動にかかる経費	公民館活動における社会体育活動や、高齢者・青少年・成人・女性学級等にかかる経費。 ・報償費 98千円 ・消耗品費 192千円 ・借上げ料 15千円					305	単町
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理に関する経費 ・燃料費 54千円 ・火災保険料 22千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 48千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 26千円 ・光熱水費 467千円 ・通信運搬費 110千円 ・消耗品 187千円 ・手数料 7千円					935	公民館使用料17 町918
合計						1,614	
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに、琴浦町公民館条例の規定に基づき公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高める環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>〔赤碕地区公民館開催事業・講座状況〕開催回数 35回 参加者数 のべ1,660人</p> <p>水曜よりみちクラブ（放課後子ども教室）、運動会、卓球大会、公民館祭・住民作品展、スマホ教室など</p> <p>寄せ植え会（R6.6.12、R6.11.6） 水曜よりみちクラブ（第1.3.5水曜日開催）</p>						
							
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①幅広い年齢層の方たちがともに交流できる居場所作りとしての事業を進める必要があります。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①10月より、放課後子ども教室「水曜よりみちクラブ」を開始し、今まで公民館を利用することが少なかった若い世代に足を運んでもらいました。また、放課後に宿題等の活動に来る子どもが増えてきており、居場所として認知してもらっています。 ②地域住民の生活に密着した様々なニーズに応える事業「わくわく元気スタジオ」を開催しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>幅広い世代のニーズに応える事業を展開していることからA相当程度進展ありと評価しました。今後も地域課題や地域住民のニーズを取り入れた事業及び幅広い世代の交流を深める事業を展開していく必要があります。</p>						
今後の取り組みの方向	地域住民のニーズや地域課題に応じた事業の企画運営に力をそそぎ、子どもたちの居場所作り、若い世代が積極的に参加出来る事業の開催を検討していきます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	675	事業名	安田地区公民館事業		会計区分	一般会計				
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続				
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費				
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり						
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開								
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源			
令和6年度	171,278	170,847	77,131	0	69	90,200	3,447			
事業の目的(なんのため)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、安田地区公民館を設置し、公民館の運営及び適正な維持管理を行います。									
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳			
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営の審議に要する経費 【報酬】 ・公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人					222	単町			
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費・通信運搬費等 ・消耗品費 995千円 ・光熱水費 709千円 ・通信運搬費 64千円 ・手数料 25千円 ・火災保険料 20千円 ・消防設備保守点検委託料 55千円 ・下水道使用料 27千円 ・NHK受信料 12千円 旧安田小学校改修に係る経費 ・旧安田小学校改修工事設計監理委託料 6,336千円 ・旧安田小学校改修工事 158,863千円 ・旧安田小学校光ケーブル移設業務等委託料 3,024千円 ・旧安田小学校残置物処分委託料 495千円					170,625	90,200	国77,131 過疎債 公民館使用料69町3,225		
合計						170,847				
事業の主な実施状況	安田地区公民館の利用者が快適かつ、安全に使用できるよう維持管理・運営を行いました。 また、旧安田小学校改修工事も施工しました。 ※令和6年度事業については、企画費「地域運営組織支援交付金事業」で実施しました。									
			安田地域交流センター 開所式の様子						「安田の郷」	
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり							
	【前年度の課題の概要】 ※課題については、企画費「地域運営組織支援交付金事業」に記載 【前年度課題についての対応及び成果】 ※対応及び成果については、企画費「地域運営組織支援交付金事業」に記載 【担当課による評価の理由】 公民館の適切な維持管理を行いました。 また、旧安田小学校改修工事も工期内に完成しました。									
今後の取り組みの方向	安田地区公民館の利用者が快適かつ、安全に使用できるよう維持管理を行います。									

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	676	事業名	成美地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,084	1,801	0	0	25	0	1,776
事業の目的(なんのために)	成美地区の各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決を図ります。						
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳	
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人				222	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等を行います。 ・燃料費 35千円・火災保険料 34千円・テレビ受信料 11千円 ・消防設備保守委託料 55千円・医薬材料費 2千円 ・使用料 27千円・光熱水費 845千円・通信運搬費 94千円 ・消耗品 226千円・手数料 54千円				1,383	公民館使用料25町1,358	
公民館活動にかかる経費	公民館活動(運動会・いまこ乳幼児学級・公民館祭等)にかかる経費 ・報償金 77千円・消耗品費 111千円 ・印刷製本費 8千円				196	単町	
合計					1,801		
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき成美地区公民館を設置、館長・主事兼集落支援員を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【成美地区公民館開催事業】開催回数132回 参加人数2,386人(延べ)</p> <p>成美地区運動会、公民館祭、ねりんピック応援企画、スマホ教室、成美プロギングなど</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>成美地区町民運動会 中にごみ拾い</p> <p style="text-align: right;">成美プロギング(ウォーキング)</p>						
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①助け合いのできる地域を目指して、地域課題に対する取り組みの組織などの運営体制を検討します。</p> <p>②地域の課題解決のために、いまこ食堂等地域団体との連携を取りながら進めます。</p>						
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①助け合いのできる地域を目指して、地域課題の取り組みとして運営体制の大幅な改善は行えませんでした。</p> <p>②子どもから高齢者まで幅広い世代が交流する場を提供するため、いまこ食堂運営委員会と連携しながら、月に1回いまこ食堂を開催することができました。また、地域の団体と共催でほたる観察会を開催することができました。</p>						
今後の取り組みの方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>地域食堂や、成美市場、スマホ教室などを定期的に開催し、社会課題に対する地域の取り組みの拠点作りができました。</p>						
	<p>①公民館移転後も、地域のニーズにあった講座や事業に取り組みます。</p> <p>②立子谷ふるさとプロジェクトと連携し、ほたる観察会の継続と、地域資源をさらに活用できるよう検討していきます。</p> <p>③いまこ食堂運営委員会と連携し、いまこ食堂の運営を継続していきます。</p>						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	677	事業名	以西地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源
令和6年度	104,345	2,562	0	0	76	0	2,486
事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき以西地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行います。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
公民館管理にかかる経費	公民館と旧以西小学校の適正な管理を行いました。				2,562	公民館使用料76 町2,486	
	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費 10千円 ・光熱水費 1,687千円 ・通信運搬費 115千円 ・手数料(味噌発酵機点検) 117千円 ・火災保険料 50千円 ・消防設備保守点検委託料 248千円 ・電気工作物保安管理委託料120千円 ・下水道使用料 203千円 ・NHK受信料 12千円 						
合計				2,562			
事業の主な 実施状況	以西地区公民館の適正な管理を行いました。 ●施設周りの環境美化(朝清掃)及び点検 ●公民館使用後のチェックと清掃 ●消防訓練						
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 課題・対応・評価については、企画費「地域運営組織支援交付事業」に記載						
	【前年度課題についての対応及び成果】 【担当課による評価の理由】 公民館の適切な維持管理を行いました。						
今後の取り組み の方向	安心・安全に住民活動ができるように適切な施設管理を行います。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	678	事業名	八橋地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	3,178	2,443	0	0	2	0	2,441
事業の目的(なんのために)	八橋地区の各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。						
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10名					222	単町
公民館活動にかかる経費	各種事業(教養講座・スポーツ大会等)による経費 主な事業: 公民館まつり、スポーツ大会(グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、卓球)、八橋キッズ(海で遊ぼう磯遊び、ケーキづくり)等。 ・報償金 100千円 ・消耗品費 152千円 ・借上料 6千円					258	単町
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費、通信運搬費等 ・燃料費 28千円 ・火災保険料 77千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 53千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 26千円 ・光熱水費 636千円 ・通信運搬費 138千円 ・消耗品 288千円					1,260	公民館使用料2 町1,258
施設内修繕	大会議室のエアコン破損による取替 703千円					703	単町
合計						2,443	
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき公民館を設置、館長・主事兼集落支援員を配置し、各種教育事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高める環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【八橋地区公民館開催事業・講座状況】開催回数45回 延べ1,100人</p> <p>グラウンドゴルフ大会、卓球大会、第4回海で遊ぼう!磯遊び、大人の社会見学、まちの保健室、公民館まつり など</p> <p>第4回海で遊ぼう!磯遊び 6月23日 第48回八橋地区公民館まつり 11月17日</p>						
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①事業の見直し検討会を実施し、公民館運営協議会委員や各部落教養体育部長からの意見を踏まえ、地域住民の方がより多く参加できるよう行事等の内容を改善することができました。 ②公民館まつりでは、作品展・芸能発表・キッズゲームコーナーなど、地域住民の方と連携しながら取組を進めることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 定期的に事業の見直し検討を行い、柔軟に取組に反映させることで、各行事等での地域住民の参加が増えていることから、公民館を拠点とした事業実施に一定の成果が出ていると評価しました。 また、「海で遊ぼう!磯遊び」をはじめ、八橋地区の特色を生かしながら地域住民が主体的に学ぶ機会を多く提供しており、住民の教養の向上や生活文化の振興等に寄与していると評価しています。</p>						
今後の取り組みの方向	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	679	事業名	浦安地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	8,148	7,476	0	0	2,720	0	4,756
事業の目的(なんのために)	浦安地区内の各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。						
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳	
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人				222	単町	
施設内修繕	手動式レール修繕工事 ・修繕料 270千円				270	単町	
公民館活動にかかる経費	各種事業(教養講座、各種スポーツ大会等)にかかる経費。主な事業:公民館まつり、スポーツ大会(グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、ニュースポーツ大会)、健康麻雀教室、スマホ相談会等。 ・報償金 50千円 ・消耗品費 49千円 ・借上料 0千円				99	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等を行いました。 ・燃料費 7千円 ・火災保険料 185千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 125千円 ・電気工作物保安管理業務委託料 176千円 ・昇降機管理委託料 779千円 ・清掃委託料 36千円 ・医薬材料費 0千円 ・使用料 365千円 ・光熱水費 4,529千円 ・通信運搬費 143千円 ・消耗品費 498千円				6,855	公民館使用料2,720 町4,135	
浦安地区公民館駐車場負担金	浦安地区公民館駐車場負担金 30千円				30	単町	
合計					7,476		
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき公民館を設置、館長・主事兼集落支援員を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高める環境を醸成しつつ住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【浦安地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 45回 参加者数 のべ 1,561人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>公民館まつり 総合スポーツ大会</p>						
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 各自治会と連携した地域密着型の社会教育・学習事業を展開します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 各自治会と少しずつ連携を取り運営ができるようになりました。また公民館主催の地域密着型事業に地域の新しい活動グループ等の参加による事業展開があり、地元住民の参加者も増えて地域のにぎわい創出につながり、各団体・組織などと連携して事業を推進できるようになりました。</p>						
	<p>【担当課による評価の理由】 各自治会との連携事業を展開しているということで、A相当程度進展ありと評価しました。今後も浦安地区の各自治会と連携し、地域住民が参加しやすい事業の計画・実施をしていくことが必要です。</p>						

今後の取り組み
の方向

地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、地域活性化をめざし各自治会との連携を推進していきます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,217	2,061	0	0	0	0	2,061
事業の目的(なんのため)	下郷地区の各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。						
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳	
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人				222	単町	
施設内修繕	公民館施設の修繕に要した経費 男子トイレ改造工事、スロープ手摺取付業務ほか 727千円				727	単町	
公民館活動にかかる経費	公民館事業に係る経費。主な事業：町民運動会、公民館まつり、教養講座、健康マージャン、女性教室、まちの保健室、せいごうキッズ等。 ・報償金 52千円 ・消耗品 280千円 ・借上料 13千円 ・印刷製本費 7千円				352	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館を維持管理する上で必要な経費 ・燃料費 20千円 ・火災保険料 53千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 13千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 26千円 ・光熱水費 266千円 ・通信運搬費 78千円 ・消耗品 123千円 ・備品購入費 167千円				760	単町	
合計					2,061		
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき下郷地区公民館を設置、館長・主事兼集落支援員を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高める環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【下郷地区公民館開催事業・講座状況】開催回数 37回 参加者数 延べ1,648名</p> <p>お家で簡単！牛肉で料理教室、健康麻雀交流会、公民館まつり、まちの保健室など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>お家で簡単！牛肉で料理教室 健康麻雀交流会</p>						
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めます。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画すると共に、住民参加型の運営体制を検討します。 ③地域住民が一体となり地域防災に関心を持ち、安心・安全なまちづくりの意識向上を目指します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①健康マージャン教室や教養講座など、地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めることができました。 ②まちの保健室では、まちの保健室実行委員さんと連携・協力し、地域住民が主体的・組織的に健康づくりの活動を行うことができるよう、地域課題に応じたテーマで事業を進めることができました。 ③地域防災については、事業を実施することができず、地域住民の防災意識の向上につなげることができませんでした。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>地域防災については、事業の実施ができませんでしたが、公民館事業への参加が昨年より増えてきており、地域住民同士のつながりが広がっているため、「A相当程度進展あり」としました。今後も地域住民のニーズや地域課題に応じて、住民が主体的・組織的に活動できるような事業を展開していく必要があると考えます。</p>						
今後の取り組みの方向	引き続き地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画すると共に、住民参加型の運営体制を検討していきます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	681	事業名	上郷地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係	□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,637	1,596	0	0	0	0	1,596
事業の目的(なんのために)	上郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。						
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬・報酬 22,200円×10人					222	単町
公民館活動にかかる経費	各種教室・スポーツ大会等に係る経費。主な事業、健康サロン、レクリエーション交流会、公民館まつり、教養講座、せいごろうキッズ等。 ・報償金 78千円・消耗品費 123千円(活動)					201	単町
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理に係る経費 ・消耗品費 117千円・燃料費 17千円・光熱水費 332千円 ・医薬材料費 2千円・通信運搬費 85千円・手数料 77千円(モップ交換) ・火災保険料 31千円・消防施設保守委託料 44千円 ・テレビ受信料 12千円・修繕料 429千円・使用料 27千円(下水)					1,173	単町
合計						1,596	
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき上郷地区公民館を設置。館長・主事兼集落支援員を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ住民の教養向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【上郷地区公民館開催事業・講座状況】開催回数55回 のべ参加 人数1,602人 健康サロン、各種作品作り、さあしぶりにしゃべらあ会、公民館まつり、各種スポーツ交流会、レクリエーション交流会、たすけあい交通実証実験(ほか)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>たすけあい交通実証実験出発式</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>さあしぶりにしゃべらあ会</p> </div> </div>						
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①上郷バス路線は、バス利用者が少ない路線としてR7から減便対象となるため、地域住民の新たな交通手段を検討します。 ②地域防災に関心を持ち、事業を通して安心安全なまちづくりへの意識向上を目指します。 ③地域課題や住民のニーズに応じた事業展開に努めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①上郷バス路線に代わる地域住民による共助交通を進め、8月～9月にはたすけあい交通実証実験を実施しました。運行日数18日(運行回数99回)、実利用者13名(登録者40名)、延べ利用者が129名と利用者の要望も多く、交通手段に困っている住民のニーズを把握することが出来ました。 ②防災講座を開催し、部落の危険箇所の点検と見直しを行い、地区住民の防災意識を高めることができました。 ③地域住民のニーズとして、スポーツ大会の開催時には、勝負にこだわらない部落の枠を外した交流会が良いとの意見を活かし、住民の交流を重視した事業を開催しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>たすけあい交通の実証実験に向けて、ドライバーと利用者の確保を行いました。また、利用者・登録者へのアンケート及び実験結果の検証を行い、令和7年度4月からの本格運行開始に向けて準備が出来ました。事業においては、防災講座を開催し、地域ぐるみで防災意識を高めたり、スポーツ大会においては住民の意見を取り入れながら住民同士の交流を深めることができました。</p>						
	<p>①たすけあい交通は、住民への認知度を高め、たすけあい交通の持続(息の長い運営)に向けたドライバーの確保に努めます。 ②事業を開催した後は参加者にアンケートをとり、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業の企画・運営体制の強化に努めます。</p>						
今後の取り組みの方向							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,391	1,382	0	0	0	0	1,382
事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行います。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
公民館運営協議会委員報酬	古布庄地区公民館運営協議会委員報酬公民館運営の審議に要する経費 【報酬】 ・公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人				222	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館と旧保育園の適正な管理を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費（灯油代、除雪機ガソリン代） 24千円 ・光熱水費（電気代、ガス代、水道代） 531千円 ・通信運搬費（電話代） 176千円 ・手数料（トイレ配管洗浄・浄化槽・鍵保管・消火器取替） 189千円 ・火災保険料（建物災害共済分担金） 82千円 ・浄化槽維持管理委託料 40千円 ・消防設備保守点検委託料 78千円 ・下水道使用料 28千円 ・NHK受信料 12千円 				1,160	単町	
合計					1,382		
事業の主な 実施状況	古布庄地区公民館の適正な管理を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ●施設の点検及び環境美化 ●公民館使用後のチェックと清掃 ●消防訓練 						
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 * 課題・対応・評価については、企画費「琴浦町地域運営組織事業」に記載のとおりです。						
	【前年度課題についての対応及び成果】 【担当課による評価の理由】 公民館の適切な維持管理を行いました。						
今後の取り組み の方向	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行います。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	3,631	2,738	56	425	0	0	2,257
事業の目的(なんのため)	町内の文化財を後世に継承するため文化財の保存・保護及び活用、公開を行い、優れた郷土の歴史や文化を理解していただくことで郷土愛の醸成に資します。						
細事業等	内容			決算額(千円)	財源内訳		
町文化財保護審議会	町内文化財に関する会議を開催しました。委員9名(欠席1名)×2回×2千円			32	単町		
文化財保存保護・活用事業補助金(木造四天王立像二体保管施設阿弥陀堂修繕) 【新規】	阿弥陀堂屋根棟瓦修繕工事 132,000円 文化財保存保護・活用事業補助金 132,000円÷4=33,000円(県直接補助1/2 町補助1/4 事業者1/4)			33	単町		
町内文化財指導巡視員	毎月1回定期的に町内文化財の巡視を行いました。国・県指定1名×3回×4,600円、町指定2名×12回・9回×4,600円。			110	単町		
伯耆の大シイ樹勢診断	伯耆の大シイ樹勢診断			25	単町		
指定文化財管理料	指定文化財の清掃等、地区や団体、所有者等による環境保全にかかる経費。 国指定：2件 県指定：13件 町指定：32件 未指定(移築古墳)：1件			428	単町		
指定文化財管理	町内にある指定文化財管理のため草刈り、除草等を実施しました。史跡等8件			1,077	国56 県315 町706		
無形民俗文化財補助金	三本杉盆踊り保存会、逢東盆踊り保存会、以西おどり保存会の保存伝承活動を支援しました。3団体×20千円			60	単町		
文化財保存保護・活用事業補助金(河本家住宅公開活用事業)	河本家住宅の公開活用活動を支援しました。補助対象事業費1,000千円(1/2補助)			500	県110 町390		
特別史跡齋尾廃寺出土遺物調査	特別史跡齋尾廃寺跡総括報告書の発刊にむけて奈良国立博物館、京都国立博物館が所蔵する齋尾廃寺跡出土遺物の実測図作成、写真撮影を行うほか、町所蔵の未報告遺物の調査、記録作業を行いました。報償金 348千円			348	単町		
その他事務経費	全国史跡整備市町村分担金等			125	単町		
合計				2,738			
事業の主な実施状況	町内文化財の活用、保護、維持管理を適切に実施しました。						
					町内文化財の公開活用		
			町内文化財の維持管理状況				

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 経年劣化が認められる町内文化財や、人口減、高齢化等により、地域で取り組まれてきた文化財の保護活動が手薄になる地域もあることから巡視等を拡充する必要があります。 町内文化財保護の取組と併せ、情報発信などの活用事業を進めていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 経年劣化により毀損した文化財の保存施設の修理を実施しました。今後も所有者等と連携し、文化財巡視の強化や調査など文化財の状況把握、対処、管理を適切に行う必要があります。 国特別史跡斎尾廃寺跡の発掘調査説明会など普及啓発を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 文化財巡視員の定期点検のほか、強風時等での職員による巡視など回数を増やしたため、災害による毀損文化財の対処なども迅速に対応できました。 文化財の情報発信、普及啓発は発掘調査事業にとどまったため、他の調査事業の情報発信に今後努めます。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>人口減、高齢化等により、一部の地域で、これまで地域で取り組まれてきた文化財の保護活動に課題が生じてきています。今後の支援のあり方（拡充）など他の自治体の取り組みなども参考に検討したいと思います。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	323	事業名	民俗資料館管理		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源
令和6年度	159	148	0	0	0	0	148
事業の目的 (なんのために)	民俗資料や埋蔵文化財資料等とおして文化財の大切さを周知し、後世に伝えます。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
民俗資料館展示	歴史民俗資料館の利用促進のため、展示方法の改善・充実を図りました。 消耗品 9千円				9	単町	
鳥取県ミュージアムネットワーク負担金	県内博物館等と協力・連携を図りました。 負担金 2千円				2	単町	
町内文化財の解説シート等作成	グラフィックデザイン編集ソフトを使用し、文化財の解説シートの作成など情報発信を行いました。 ソフト使用料 137千円				137	単町	
合計					148		
事業の主な 実施状況	<p>来館者に琴浦町の歴史文化を知ってもらうための公開を行いました。</p> <p>一般来館者 54人（記名者人数）</p> <p>小中学校 60人</p> <p>写真展 58人（記名者人数）</p> <p>※生涯学習センター空調工事のため、8月以降は休館。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	<p>【前年度の課題の概要】 小学校の見学、体験の受入れを進めるため、小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示のあり方の検討が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 今年度は生涯学習センター空調工事のため、長期の休館であったが、展示資料の拡充などを行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 展示資料の追加するなど公開再開に向けて準備ができました。</p>						
	今後の取り組み の方向	引き続き小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示や体験学習用の資料の充実を図ります。					

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1440	事業名	特別史跡齋尾廃寺跡指定地買上げ事業	会計区分	一般会計			
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度		最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
				国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源
令和6年度		1,697	1,100	880	73	0	0	147
事業の目的 (なんのために)	史跡の公有化を行うことで、遺跡の保護・活用・整備を図ります。							
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳			
特別史跡齋尾廃寺跡買上げ事業	特別史跡齋尾廃寺跡について今後の保存活用のため、史跡指定地内の民有地の公有地化事業を実施しました。 ・用地業務委託料 1,100千円			1,100	国880 県73 町147			
合計				1,100				
事業の主な 実施状況	<p>①特別史跡齋尾廃寺跡の今後の保存活用のため、指定地内の民有地の公有地化にむけ測量作業を実施しました。</p> <p>対象：令和5年度追加指定地 面積：205.7㎡ 筆数：1筆 用地測量業務委託料：1,100千円</p>							
								
事業目的の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない				
	<p>【前年度の課題の概要】 令和5年度に追加指定された指定地について早期に公有地化を図る必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 令和5年度の追加指定地についての公有地化のため用地測量を実施しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 買上げ対象地は借地契約がされていたため、年度内での借地契約の解約を地権者と協議し実施しましたが、地権者と借地者間の協議の結果、年度内の解約が困難となったため、公有地化の完了が見込めないことから来年度に繰り越します。</p>							
	今後の取り組み の方向	年度明け後、早期に公有地化事業を実施します。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業		会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	4 埋蔵文化財発掘調査費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	2,431	2,406	1,200	600	0	0	606	
事業の目的 (なんのため に)	町内埋蔵文化財の保存と活用。史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、国特別史跡斎尾廃寺跡の発掘調査を実施します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
国特別史跡斎尾廃寺跡発掘調査事業	史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、斎尾廃寺跡の発掘調査を実施しました。					2,406	国1,200 県600 町606 (補助対象経費2,400)	
	報償金	102千円						
	需用費	130千円						
	作業員派遣委託料	1,920千円						
	借上料	254千円						
合計						2,406		
事業の主な 実施状況	<p>① 史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、国特別史跡斎尾廃寺跡の発掘調査を実施しました。</p> <p>遺跡名 : 特別史跡斎尾廃寺跡</p> <p>時代 : 古代</p> <p>調査期間 : 令和6年8月20日～令和6年12月27日</p> <p>調査面積 : 205㎡</p> <p>【主な経費】</p> <p>報償金 : 102千円 需要費(消耗品) : 130千円 委託料(シルバー人材) : 1,920千円 借上料(発掘機材) : 254千円</p>							
	<p>再調査トレンチ位置図</p>							



斎尾廃寺北東隅区 (T36) 画清検出写真

	<p>担当課による評価</p>	<p>B 進捗が大きくない</p>
<p>事業目的の 達成状況</p>	<p>【前年度の課題の概要】 特別史跡斎尾廃寺跡について、町内外へ情報発信、普及啓発が不十分であったため、再調査で得られた情報を積極的に発信していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別史跡斎尾廃寺跡の再調査で得られた成果を町内外の方々に知っていただくため現地説明会を実施しました。また、町内団体の依頼があり、特別史跡斎尾廃寺跡の講演会を実施しました。 ・史跡整備に向けた情報を予定通りに得ることができませんでした。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査について酷暑による暑さから作業の遅延がみられたこと、掘削土量が想定より多かったことから、予定していた調査区の数进行调查することができなかつたため、史跡整備に向けた情報を得ることができませんでした。また、情報発信については現地説明会の開催や特定の団体へ講演のみで普及啓発が不十分でした。 	
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>特別史跡斎尾廃寺跡について、町内外へ更なる情報発信、普及啓発のため、調査成果を適時発信していきます。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費	会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習センター管理室	□新規 ■継続			
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 5 生涯学習センター運営費				
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり		② 誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり				
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	517,595	430,983	0	0	1,391	398,500	31,092
事業の目的 (なんのために)	子どもから高齢者までのすべての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行います。						
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳
生涯学習センター管理費 【改善】	安心安全で快適な社会教育の場を提供するため、生涯学習センターの維持管理を行いました。 ・光熱水費 9,678千円 ・燃料費 3,592千円 ・修繕料 2,415千円 ・その他 4,485千円					20,170	町18,779 その他諸収入1,391
委託料 【改善】	安心安全に施設を利用してもらうため、適切に管理を行いました。 ・警備委託料 3,894千円 ・清掃委託料 2,955千円 ・空調保守委託料 2,453千円 ・その他 2,937千円					12,239	単町
生涯学習センター空調設備等改修工事 【新規】	経年劣化により利用に支障をきたす設備(空調設備等)について改修を行い、安心・安全に利用いただける施設環境を整えました。 ○空調設備改修 ・工事費 362,516千円 ・委託料 8,855千円 ○地下駐車場消火設備改修 ・委託料 5,423千円					376,794	過疎債188,850、緊急防災・減災事業債187,900、町44
生涯学習センター昇降機リニューアル工事 【新規】	長年使用してきた設備の一部を改修するとともに補強を施し、利用者の安全性を確保するとともにリニューアルを図りました。 ・工事費 21,780千円					21,780	過疎債21,750 町30
合計						430,983	
事業の主な実施状況	来館者に安心安全で快適な社会教育の場を提供するため、生涯学習センターの維持管理を行いました。また、老朽化した空調設備等の改修工事を行いました。						
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 老朽化して不安定な状況にある空調設備、地震時の安全機能が最新の基準に適合していない昇降機、及び老朽化による消火設備の故障で使用不能となっている地下駐車場の改修工事を実施し、利用者が安心・安全に生涯学習センターを利用できるように改修工事を進める必要がありました。						
	【前年度課題についての対応及び成果】 当初予算に計上した空調設備等改修工事、昇降機リニューアル工事は、年度内に完成することができました。また、地下駐車場消火設備改修は、6月議会で設計費を確保し設計業務に着手し、9月議会で工事費を確保、12月議会で工事請負契約の議会承認を得て、改修工事に着手することができました。						
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 大きな3つの課題(空調設備改修、昇降機改修、地下駐車場消火設備改修)のうち、当初予算に計上された2つの工事は年度内に完成し、補正予算で設計費を計上した残る1つの工事も補正予算で工事費を確保し、工事着手することができたため、『相当程度進展あり』の評価としました。						
	生涯学習センターは平成9年の竣工より28年が経過し、施設の老朽化が進行しています。今後修繕が必要となる箇所をリスト化し、概算工事費の算出を進め、今後必要となる工事費を把握します。そのうえで、緊急性、老朽化の進行性を考慮し、効率的な修繕計画を立案し、修繕費用の削減に努めます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	329	事業名	図書館活動費		会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	琴浦町図書館		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	6 図書館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	20,000	19,640	0	0	4	0	19,636
事業の目的 (なんのために)	図書資料の充実を図り、知の拠点として町民の「調べたい」「学びたい」を支えるとともに、町民の居場所、課題解決や生涯学習の場を提供します。また、小・中学校、こども園、公民館などと連携し、本に親しむ機会の提供や読書活動の推進を図ります。						
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳			
図書館システムの運用	図書館システム(京セラ ELCILO)の借上料及び保守委託料 ・ 図書館端末借上料 (小中学校分込) 6,074千円 ・ 図書館システム保守委託料 1,756千円		7,830	単町			
図書館ICタグシステムの運用	図書館ICタグシステムの保守委託料及びICタグ購入用消耗品費 ・ ICタグシステム保守委託料 2,318千円		2,318	単町			
図書館資料の整備、提供事業	住民ニーズに合わせた図書を整備するとともに、所蔵資料、郷土資料等を適正に分類・管理し提供しました。 ・ 図書、A V資料等購入費 5,400千円 ・ 新聞、雑誌購入費 1,300千円 ・ 図書館装備用消耗品費 55千円 ・ 図書装備手数料 47千円 ・ 書誌データ使用手数料 440千円		7,242	単町			
人と本をつなげるきっかけづくり	こども園や小学校、高齢者施設等へ団体貸出を行い、本に触れ親しむ機会を提供しました。 春秋の読書週間や夏休み等にあわせたイベントや講座を実施しました。 ・ ブックスタートの実施 327千円 ・ 各種イベント、講座の実施 28千円 ・ 音読会の推進 等		355	単町			
木のおもちゃのレンタル事業	木のおもちゃの消毒、破損等の補修等を行い、安心・安全に提供しました。 ・ メンテナンス手数料 304千円		304	単町			
障がい者サービス	活字による読書が困難な方を対象に「録音図書」の貸出を行いました。 ・ サビ工図書館利用手数料 40千円 ・ 録音再生機の購入 65千円 ・ 職員研修 講師謝金 15千円		120	単町			
図書館管理運営用その他経費	図書館の管理運営に必要な経費 ・ 図書館協議会委員報酬 22千円 ・ 日本図書館協会等負担金 28千円 ・ 消耗品費 684千円 ・ テレビ受信料 12千円 ・ 通信運搬費 1千円 ・ 燃料費(灯油代) 4千円 ・ 天井照明修繕費 67千円 ・ 備品購入費 653千円		1,471	その他収入4 町1,467			
合計			19,640				
事業の主な実施状況	<p>①年間を通じて図書館利用を図りました。図書購入費5,400千円</p> <p>※本館では空調等の改修工事のため、令和6年9月2日から令和7年3月31日臨時休館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間来館者数 35,044人 ・ 年間貸出者数(個人) 13,965人 ・ 年間貸出冊数(個人) 46,039冊 ・ 年間購入図書 2,342冊 視聴覚資料 20点 ・ まちなか図書館 4カ所 (以西地区、安田地区、成美地区、古布庄地区) ・ 団体貸出 22カ所 <p>②子どもの読書活動推進として下記のとおり実施しました。ブックスタート等事業費</p>						

	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート 乳児(6カ月):年5回 63人、3歳児:年7回 108人 ・おはなし会(毎週土曜日) 本館:42人参加、分館:91人参加 ・来館おはなし会 2回 55人参加 ・出前おはなし会 ことらこども園 6回(135人)、アトリエ・ラボ 1回(16人)、分庁舎イベント 1回(57人) ・読みメンによるおはなし会 2回 23人参加 ・読み聞かせボランティア研修会 1回 12人参加 ・保育士向け絵本の補修研修会 1回 5人参加 <p>③図書館の利用促進として下記のとおり実施しました。イベント事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベント 4回(子どもの読書週間、夏休み、秋の読書週間、クリスマス) ・古文書講座 1回開催 16人参加 ・リサイクル市 赤碓分館 1回開催(本館は荒天のため中止) ・レファレンスサービスの実施 ・テーマ展示 「追悼 さとうわきこさん」「琴浦まちゼミ」「中学生・高校生ポップコンテスト」等 <p>④読書に障がいのある方が利用しやすくするための整備に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・録音図書再生機の購入 3台 ・サピ工図書館の利用登録 ・聞く読書体験会 1回開催 16人参加 ・職員研修 1回開催 <p>⑤利用しやすくするため、環境整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤碓分館の除籍作業を行い、書架の整理を行いました。 	
事業目的の達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①第3次琴浦町子ども読書活動推進計画をもとに、子どもの読書活動を推進していく必要があります。</p> <p>②読書に障がいのある方が様々な資料を利用できるよう整備する必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①読み聞かせボランティア向けの研修を行い、ボランティアの育成に努めました。また、こども園・保育園を訪問し現状の把握を行い、要望が多かった本の補修研修を実施しました。</p> <p>②録音図書再生機の購入、サピ工図書館への利用登録を行い、読書に障がいのある方への環境整備を進めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>年間を通じて、図書資料の充実を図り、イベントや団体貸出等の実施を行うことで本に親しむ機会を提供しました。また、子どもの読書活動に携わる人材の育成に努め、読書に障がいのある方へのサービスを実施する環境を整えることができたため、A相当程度進展ありと評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>引き続き、読み聞かせボランティアの育成と交流を進め、子どもの読書活動を推進していきます。</p> <p>読書に障がいのある方へサービスが届けられるよう、関係課や関係機関と連携しながら読書バリアフリーを推進していきます。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	311	事業名	文化振興事業			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	7 文化芸術振興費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑦ 文化・芸術活動の振興			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	2,689	1,331	0	275	90	0	966	
事業の目的 (なんのため に)	町内の文化芸術団体等を支援するほか、連携により、文化芸術活動の活性化を図るとともに、県内文化芸術振興団体等とも連携することにより、町民が文化芸術に親しむ機会の充実を行い、町内文化振興を図ります。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
文化祭開催費	文化活動の向上、活性化や担い手確保のため文化祭を開催しました。 消耗品費 3千円 印刷製本費 50千円 展示パネル設置・撤去委託料 766千円					819	県170 町649	
コトウラ芸術宅配便	町内教育機関と連携してのアウトリーチ公演(芸術宅配便)を開催、文化芸術鑑賞開始のきっかけづくりを展開しました。 報償金 80千円					80	単町	
アートスタート事業補助金	【目的】 ・就学前児童への文化芸術の機会提供 ・豊かな感性と創造性の育成 【内容】 就学前児童を主対象とした文化芸術の機会提供の事業への補助。 アートスタート活動支援事業補助金 0件					0	県10/10	
文化芸術振興補助金	【目的】 ・文化芸術団体の自主的な活動促進 ・町民への文化芸術機会の提供 【内容】 ・文化芸術団体が主催する鑑賞事業への補助。 文化芸術振興補助金 0件					0	単町	
合唱団活動支援事業補助金	【目的】 ・児童への文化芸術の機会提供 ・活動を通じた児童の成長を目的 【内容】 児童を中心とした合唱団の練習、発表活動、団拡充の取組への補助。 80千円×1団体					80	県40 町40	
音楽の魅力発見事業 (鳥取県文化振興財団 連携事業)	【目的】 鳥取県文化振興財団と連携し、町内における文化芸術鑑賞機会の充実を図りました。 【内容】 事業内容<年間2公演程度> ・親子で楽しめる公演 ・鳥取県にゆかりのあるアーティストによる公演 ※事業費600千円を財団と折半 音楽の魅力発見事業負担金 300千円 消耗品費 8千円 印刷製本費 30千円 使用料 4千円					342	県60 その他収入90 町192	
体験講座希望文化団体等 補助金	新規文化活動者確保のため体験講座開催を支援しました。 補助率10/10 文化活動団体5団体×上限10千円 文化活動体験講座開催費補助金 10千円(1件)					10	県5 町5	
合計						1,331		
事業の主な 実施状況	<p>① 地域、学校への文化・芸術派遣事業</p> <p>地域や学校へ体験講座や県内の文化・芸術家を派遣することで、子どもたちへの文化・芸術体験の機会設定につながりました。</p> <p>文化・芸術家の派遣 2回、舞台機材体験 1回</p>							



② 補助金交付 90千円

地域文化活動団体が行う発表・鑑賞・体験活動に対して補助金を交付し、文化活動振興を図りました。

- ・琴浦少年少女合唱団活動補助金 響け！カウベル合唱団
- ・文化活動体験講座開催費補助金 竹細工教室

③ 鳥取県文化振興財団連携事業

琴浦町誕生20周年「琴浦おめでとうコンサート」を実施しました。 令和6年10月26日（土）来場者132名

親子で楽しめる公演「きっずコンサート」を実施しました。 令和7年3月20日（木）来場者128名



④ 文化芸術関係団体の発表活動支援

琴浦秋の芸能祭の開催支援 令和6年11月24日（日）来場者152名 出演者111名（12団体）

カウベル合唱フェスティバルの開催支援 令和6年11月17日（日）来場者130名 出演者57名（5団体）



琴浦町民文化祭の開催支援 令和6年11月2日～4日 来場者534名（23団体、7個人）



担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的の
達成状況

【前年度の課題の概要】

文化芸術団体の活動促進に向け、文化芸術団体の更なる活動支援が必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】

団体と連携し、芸能、合唱、展示とも発表活動機会を確保することができました。

【担当課による評価の理由】

各団体と連携し、文化祭、芸能祭、合唱フェスティバルを開催することができました。
また、鳥取県文化振興財団と連携協定を締結し、町政20周年記念事業や子ども向けの公演も開催しました。

今後の取り組み
の方向

鳥取県文化振興財団とのパートナーシップ協定を生かし、当財団との連携事業を進め、町の文化芸術振興に取り組みます。
文化芸術団体の更なる活動支援を行います。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	333	事業名	一般管理			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用しなくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	139	73	0	0	0	0	73	
事業の目的 (なんのため に)	社会体育に関する一般的な管理運営を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
一般管理	社会体育施設にかかる管理運営 消耗品費 73千円					73	単町	
	合計					73		
事業の主な 実施状況	社会体育施設にかかる管理運営を行いました。							
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
	【担当課による評価の理由】 経年劣化による修繕、定期的な機器の保守点検など、消耗品の補充等、必要な維持管理を行いました。							
今後の取り組み の方向	適切な管理に努めます。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育振興費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			③ 地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	22,207	15,599	0	381	2,076	4,200	8,942	
事業の目的 (なんのために)	スポーツ協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげるとともに、全国大会等で優秀な成績を収められた方に対して表彰式を行い功績を讃え、今後の活力につなげます。スポーツ少年団活動を通して、子ども達の体力の向上と健全育成を図ります。コンディショニングコーディネーターや町民トレーナーによる総合体育館トレーニングルームの活用促進を図ります。スポーツ推進委員との連携により町民の運動習慣の定着を図り、介護予防と健康寿命延伸に寄与します。							
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳				
町スポーツ協会補助	町スポーツ協会活動費 補助金 1,734千円 負担金 646千円(郡体育協会)		2,380	県381 町1,999				
スポーツ少年団補助	スポーツ少年団の活動 消耗品費 9千円 負担金 6千円(中部地区交流大会参加費) 補助金 939千円		954	単町				
トレーニングルーム運営 及び教室開催	谷川コンディショニングコーディネーター及びフィットネストレーナー、町民トレーナーの指導体制の充実を図り、町民の運動習慣定着を推進しました。 トレーニングルーム指導、体幹教室等各種教室の開催。 報奨金 675千円(町民トレーナー、フィットネストレーナー) 消耗品費 138千円 修繕費 0千円 委託料 324千円(機器保守点検) 委託料 4,249千円(コンディショニングコーディネーター)		5,386	過疎債4,200 町1,186				
スポーツ推進委員活動	スポーツ推進委員の活動 委員報酬 1,316千円 費用弁償 147千円(全国・中国大会旅費) 消耗品費 721千円(事業にかかる分) 保険料 0千円(傷害保険) 負担金 52千円(県・国協議会) 負担金 15千円(郡連絡協議会) 備品購入費 50千円(軽スポーツ用具)		2,251	単町				
スポーツ教室実行委員会 への補助	スポーツ教室交流事業 補助金 270千円(スポーツ教室交流会実行委員会)		270	単町				
部活動の地域移行	部活動の地域移行 報償金 14千円(検討会委員)		14	単町				
その他事業	スポーツ振興全般にかかるその他事業 印刷製本費 12千円 負担金 20千円(ウオーキングステーション) 全国ねんりんびっく琴浦町実行委員会補助金 補助金 4,312千円		4,344	その他収入2076 町2268				
合計			15,599					
事業の主な実施状況	<p>①大会・教室事業を展開し、健康づくり及び仲間作りを奨励しました。</p> <p>18大会・4教室 事業参加1,709人 スポーツ協会表彰76人</p> <p>②琴浦町スポーツ少年団</p> <p>14団体の活動支援を行った。競技力アップと健全育成に取り組みました。</p> <p>登録人数349人(前年比11人増)</p> <p>③トレーニングルーム運営</p> <p>コンディショニングトレーナー、フィットネストレーナー、町民トレーナーを配置し、トレーニング指導、各種教室(体幹教室、ストレッチ教室)、スポーツ少年団等への指導を行いました。</p> <p>令和6年度トレーニングルーム利用人数22,736人(前年比 279人減)</p>							

	<p>④スポーツ推進委員の配置 スポーツ推進委員 25人</p> <p>体力測定会、えんじょいスポーツ（ニュースポーツ体験）、出張指導を実施し、町内の運動習慣の定着に取り組みました。</p> <p>⑤ガイナレホームタウンデーの開催 5/3 町内事業者と琴浦町ブースの出店を行い、ホームタウンデーを盛り上げました。</p> <p>⑥中学校部活動の地域移行 検討会を適時実施。令和7年度の取り組みを確認しました。</p>		
<p>事業目的の 達成状況</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">担当課による評価</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A 相当程度進展あり</td> </tr> </table> <p>【前年度の課題の概要】 ねんりんピックソフトボール交流大会の円滑な運営と成功に向けて準備を進めます。スポーツ協会の補助金や運営の見直しについて、継続した協議が必要です。部活動の地域移行については、まずは部活動指導員など地域連携を進めながら、全国的な流れもふまえ地域を巻き込んだ検討が必要と考えます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ねんりんピックソフトボール交流大会は、4市町の幹事町として競技団体と打ち合わせを重ね、円滑に運営することができました。町内事業者の協力により会場のおもてなしにも力を入れ、来場者から高評価をいただきました。スポーツ協会と事業や運営の協議を重ね、見直しにつなげることができました。部活動地域移行は、可能な種目について長期期間中の試行を計画しています。</p> <p>【担当課による評価の理由】 適切に運営できています。</p>	担当課による評価	A 相当程度進展あり
担当課による評価	A 相当程度進展あり		
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>社会体育施設の当日利用について、調査・研究を進めます。 対応できる施設から順次、当日予約・利用を広げていけるよう検討します。 修繕が必要な箇所が複数あり、計画的な修繕が必要です。（雨漏り、照明LED化、トレーニング室の床等）</p>		

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	349	事業名	社会体育利用施設管理			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用しなくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	3,485	2,489	0	0	1,180	0	1,309	
事業の目的 (なんのために)	各地区体育施設(古布庄、安田、以西)、武道館(東伯・赤碓)等の維持管理を行います。							
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳		
社会体育施設の管理運営	消耗品費	7 4千円			2,489	施設使用料1,180 町 1,309		
	光熱水費	9 2 8千円(電気、ガス、上水道)						
	修繕料	4 3千円(東伯武道館街灯など)						
	手数料	2 8 1千円(清掃用具リース)						
		2 8 3千円(ワックス清掃)						
	火災保険料	1 4 5千円(建物災害共済)						
	委託料	5 2 5千円(聖郷運動広場樹木伐採)						
		3 1千円(消防用設備保守点検)						
	使用料	1 5 3千円(施設清掃)						
	2 6千円(下水道)							
	合計				2,489			
事業の主な実施状況	トイレなどの清掃管理、適時施設修繕を行いました。 施設：各地区体育施設(古布庄、安田、以西)、武道館(東伯・赤碓)、東伯中学校・船上小学校グラウンド							
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 適切に管理業務を行っています。							
	旧小学校施設は、地元以外の利用が少ないため、地域による管理に移行できないか検討します。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	350	事業名	平岩記念会館管理運営			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	1,304	1,292	0	0	155	0	1,137	
事業の目的 (なんのために)	宿泊、研修などに利用するための施設として管理を行いました。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
平岩記念会館の管理運営	消耗品費	8 1 千円 (トイレットペーパー、蛍光灯等)				1,292	使用料155 町1,137	
	光熱水費	6 4 1 千円 (電気、ガス)						
	手数料	5 3 千円 (フックス清掃)						
	火災保険料	1 2 9 千円 (建物災害共済)						
	委託料	7 3 千円 (消防設備保守)						
		2 3 7 千円 (浄化槽維持管理)						
		7 4 千円 (施設清掃)						
	積立金	4 千円 (平岩教育福祉振興基金)						
	合計					1,292		
事業の主な実施状況	宿泊・研修に利用するための施設として、適切に管理を行いました。							
	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
	【担当課による評価の理由】 経年劣化による修繕、定期的な機器の保守点検など、必要な維持管理を行いました。							
今後の取り組みの方向	適切な施設の維持管理を継続します。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	20,746	19,760	0	0	1,433	0	18,327	
事業の目的 (なんのため に)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場として施設の整備・管理を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
東伯総合公園の管理運営	消耗品費	1,230	千円			19,760	その他収入1,433 町18,327	
	燃料費	150	千円					
	委託料	903	千円 (総合公園清掃)					
		3,862	千円 (総合公園管理)					
		295	千円 (電気設備保守)					
		50	千円 (防火設備定期点検)					
		331	千円 (浄化槽)					
		330	千円 (消防設備保守)					
		396	千円 (野球場整備)					
		1,675	千円 (樹木伐採委託料)					
		843	千円 (多目的グラウンド整備)					
		385	千円 (建物点検)					
		1,254	千円 (手数料)					
		1,010	千円 (修繕料)					
		310	千円 (火災保険料)					
	6,223	千円 (光熱水費)						
	124	千円 (通信運搬費)						
	75	千円 (下水道使用料)						
	252	千円 (賃借料)						
	43	千円 (自動車保険料)						
	7	千円 (自動車重量税)						
	12	千円 (テレビ受信料)						
	合計					19,760		
事業の主な実施状況								
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】							
	経年劣化による修繕、定期的な機器の保守点検など、必要な維持管理を行いました。							
	修繕が必要な箇所が多数あり、長寿命化計画の優先度もふまえた計画的な修繕が必要です。(野球場照明LED化、テニスコート漏水等) 東伯、赤碓で重複する施設(野球場、テニスコート、多目的広場等)について、町全体での方向性を整理する必要があります。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	3,160	2,189	0	0	358	0	1,831	
事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場として施設の整備・管理を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
農業者トレーニングセンターの管理運営	消耗品費	3 7千円					2,189	使用料 358、町 1,831
	光熱水費	8 6 4千円 (電気、上水道)						
	通信運搬費	6 3千円 (電話代)						
	手数料	1 1 4千円 (アリーナワックス)						
	火災保険料	3 6千円 (建物災害共済)						
	自動車保険料	1 4千円						
	委託料	1 7 4千円 (消防設備点検)						
		9 1千円 (自家用電気工作物保安管理)						
		2 3 2千円 (施設清掃)						
		4 4 0千円 (特定建築物定期調査)						
		3 3千円 (特定建物定期点検)						
	使用料	7 9千円 (下水道使用料)						
テレビ受信料	1 2千円							
合計						2,189		
事業の主な実施状況	○令和6年度の利用人数・団体数 11,180人(1041団体)							
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 適切に維持管理業務を行っています。							
	修繕が必要な箇所が複数あり、公共施設個別施設計画の内容もふまえ計画的な修繕が必要です(雨漏り、照明LED化)。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	418	事業名	赤碕総合運動公園管理			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	6,551	6,357	0	0	764	0	5,593	
事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場として施設の整備・管理を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
赤碕総合運動公園の管理運営	消耗品費	4 6 0千円 (除草剤、石灰、チェーンソー替刃等)					6,357	使用料 764、町 5,593
		1 3 6千円 (黒土混合土)						
	燃料費	1 0 4千円 (公用車ガソリン、混合油)						
	光熱水費	2, 6 9 3千円 (電気、上水道)						
	修繕料	3 8 5千円 (野球場倉庫シャッター取替工事)						
		1, 2 4 3千円 (北側駐車場法面修繕工事)						
		4 6千円 (その他、軽微な修繕)						
	通信運搬費	3 0千円 (電話代)						
	手数料	6 8千円 (車検)						
	火災保険料	9 0千円 (建物災害共済)						
	自動車保険料	3 2千円						
	委託料	2 1 4千円 (自家用電気工作物保安管理)						
		4 2 9千円 (野球場内野部整備)						
		2 3 0千円 (野球場スコアボード点検)						
		1 3 9千円 (施設清掃)						
	1 7千円 (消防機器点検)							
	2 2千円 (浄化槽維持管理)							
	テレビ受信料	1 2千円						
	自動車重量税	7千円						
	合計					6,357		
事業の主な実施状況	○野球場倉庫シャッター取替工事							
								
	修繕前	修繕後						
事業の主な実施状況	○主な利用人数							
	野球場	2, 7 6 2人 (72団体)						
	テニスコート	1, 8 4 2人 (121団体)						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
	【担当課による評価の理由】 経年劣化による修繕、定期的な機器の保守点検など、必要な維持管理を行いました。							
今後の取り組みの方向	修繕が必要な箇所が多数あり、計画的な修繕が必要です (野球場照明LED化、テニスコート人工芝張替・照明LED化)							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1627	事業名	東伯総合公園改修事業			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	165,660	161,800	0	0	31,000	129,800	1,000	
令和6年度(明許)	10,637	10,131	0	0	0	7,600	2,531	
事業の目的(なんのために)	東伯総合公園サッカー場を人工芝へ改修し、あわせて夜間照明等を新設することにより、町民に年間を通じたスポーツ・レクリエーション活動の場を提供します。							
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳	
東伯総合公園サッカー場夜間照明等新設工事【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ●東伯総合公園サッカー場夜間照明等新設工事 158,423千円 東伯総合公園サッカー場に防球ネットおよび夜間照明を6基新設しました。 ●東伯総合公園サッカー場夜間照明等新設工事監理業務 2,475千円 東伯総合公園サッカー場夜間照明等新設工事に係る監理業務を行いました。 					160,898	JFA助成金 15,000、toto助成金 16,000、過疎債 129,800、町 98	
東伯総合公園高圧コンデンサ取替業務【新規】	<p>既設高圧コンデンサに低濃度PCB混入の可能性があり、破壊をした上で油を取り出し、検体調査により混入の有無の確認を行いました。上記理由により、高圧コンデンサの更新が必要となったため、取替を行いました。</p>					902	町 902	
東伯総合公園サッカー場改修に係る業務【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ●東伯総合公園サッカー場改修工事測量調査設計業務 8,811千円 東伯総合公園サッカー場の人工芝改修に係る必要な測量、調査及び設計を行いました。 ●東伯総合公園サッカー場改修工事積算業務 1,320千円 令和7年度発注予定の東伯総合公園サッカー場の人工芝改修工事に係る工事発注用設計書の作成を行いました。 					10,131	過疎債 7,600、町 2,531	
合計						171,931		
事業の主な実施状況	○東伯総合公園サッカー場に夜間照明6基および防球ネットを新設しました。							
	 <p>防球ネット</p>		 <p>夜間照明</p>					
事業目的の達成状況	○高圧コンデンサの取替を行いました。							
								
今後の取り組みの方向	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
事業目的の達成状況	【担当課による評価の理由】							
	サッカー場の夜間照明設備、防球ネットの新設工事が完了しました。また、人工芝への改修に伴う設計、工事用発注資料の作成を行い、令和7年度の工事にに向けて準備を行いました。							
今後の取り組みの方向	令和7年度はサッカー場を人工芝へ改修する工事を行い、町民をはじめとする利用者が快適に利用できる施設整備を実施します。							

令和6年度決算 事業体系図

所属名： 人権・同和教育課

(単位：千円)

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	68	社会福祉総務費	932	922
			小計		932	922
3 民生費	1 社会福祉費	4 隣保館運営費	570	東伯隣保館運営費	22,677	14,695
			571	赤碓隣保館運営費	6,257	6,157
			小計		28,934	20,852
3 民生費	2 児童福祉費	3 児童館運営費	566	東伯児童館運営費	1,179	1,033
			567	赤碓児童館運営費	1,453	1,372
			小計		2,632	2,405
9 教育費	4 社会教育費	8 人権教育費	296	人権・同和教育推進事業(事務費)	2,603	2,241
			302	人権尊重の社会づくりの推進	602	344
			575	人権教育推進事業(法務省委託)	179	151
			小計		3,384	2,736
所属合計					35,882	26,915

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	68	事業名	社会福祉総務費		会計区分	一般会計	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続	
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
	重点事業			情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり			
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	932	922	0	76	0	0	846
事業の目的 (なんのために)	町内の人権擁護、啓発等に携わる人権擁護委員、保護司、更正保護女性会の活動に対し助成及び支援を行い、人権尊重のまちづくりの実現を目指します。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
人権の花運動(人権啓発活動地方委託事業 法務省委託)	町内の各小学校へ「人権の花」を贈呈しました。 ・消耗品費 76千円 バンジー・ピオラ花苗			76	県10/10		
更生保護団体の活動支援	「社会を明るくする運動」をはじめ、更生保護事業を行う団体や保護司に対し助成を行いました。 ・報償金 287千円 保護司報償金 287千円 (22,700円×11人、18,916円×2人) ・負担金 234千円 東伯地区保護司会負担金 136千円 更生保護女性会負担金 98千円			521	単町		
人権擁護委員活動支援	「人権擁護委員の日」「人権週間」「特設人権相談所」など、町内で人権啓発を担う人権擁護委員に対する支援及び助成を行いました。 ・報償金 238千円 (34千円×7名) ・負担金 70千円 人権擁護委員協議会負担金 63千円 県人権擁護委員連合会負担金 7千円 ・消耗品費 17千円			325	単町		
	合計			922			
事業の主な実施状況	1 人権の花運動 ・ 小学校が花を育てることを通して生命の大切さを実感し、思いやりの心を育てるため、町内の小学校5校に花の苗を贈呈する「人権の花運動」を実施しました。(10月実施 バンジー・ピオラ花苗)						
	2 更生保護団体の活動支援 ・ 「社会を明るくする運動」など更生保護活動を行う更生保護女性会及び保護司に対し助成をし、活動に協力しました。 (出発式：ポート赤碕、 啓発活動：商業施設2カ所)						
事業目的の達成状況	3 人権擁護委員活動支援 ・ 人権擁護委員の日(6月1日)に人権擁護委員の周知と人権尊重の大切さについて啓発活動を行いました。 町内小中学校と琴の浦高等特別支援学校に啓発物品を配布するとともに、町内商業施設の入り口で街頭活動を行いました。 ・ 各地区ごとに人権相談所を開設し、相談を受けました。(各地区公民館：24回) ・ 人権週間に併せて「ことうら人権まなびの集い」(12月1日)で、人権プラバンづくりと人形劇(はしのうえのおおかみ)を行い、子どもたちに人権の大切さについて啓発しました。						
	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	【前年度の課題の概要】 ・ 人権尊重のまちづくりを推進するため、人権啓発等を広く町民の皆様へ周知していく必要があります。						
	【前年度課題についての対応及び成果】 ・ 「人権の花運動」を全小学校で実施し、花を育てることで、子どもたちの「命を大切にできる心」を育みました。 ・ 保護司、更生保護女性会等の団体と協力し、「社会を明るくする運動」を推進することで、町内の犯罪や非行の防止、立ち直りを支える気運を高めました。						

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「人権擁護委員の日」「人権週間」「地域での人権相談所」など、人権擁護委員の活動を支援し、人権啓発を推進しました。
	<p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権擁護委員、保護司、更生保護女性会等と連携・協力し、様々な人権啓発ができたと評価しました。
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>すべての人の人権が尊重される町づくりを推進するため、教育及び啓発を行っていきます。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	570	事業名	東伯隣保館運営費		会計区分	一般会計	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続	
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 隣保館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業 ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	3,004	2,959	1,480	740	40	0	699
令和6年度(明許)	19,673	11,736	0	8,446	0	3,100	190

事業の目的(なんのために) 地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点、そして住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権課題の解決のための各種事業を総合的にを行います。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
文化センター運営審議会	文化センター運営審議会を年2回開催し、年間計画や今後の取り組みを審議しました。 委員12人(地域住民代表、学識経験者、関係団体代表、小中学校代表、こども園・保育園代表、行政職員代表) ・委員報酬 24千円 (2千円×12人)	24	国1/2 県1/4 町1/4
各種隣保館事業	各種隣保館事業(人権まなびの講座、部落解放文化祭、小中学生学習会、学習支援事業、教室活動等) ・報償金 563千円 ・費用弁償 29千円 ・食糧費 125千円 ・保険料 4千円 ・負担金 2千円(中3交流会)	723	国1/2 県1/4 町1/4
施設整備(修繕・備品購入)	・修繕料 444千円 ・備品購入費 90千円 ・図書 10千円	544	国1/2 県1/4 町1/4
その他事務費、施設の維持管理費等	施設の運営及び維持管理等に要する経費 需用費 1,002千円 (消耗品費361千円、燃料費74千円、印刷製本費15千円、光熱水費552千円) 役務費 124千円 (通信運搬費43千円、手数料24千円、保険料57千円) 委託料 58千円 使用料及び賃借料 411千円 (使用料102千円、借上料309千円) 負担金 70千円(県隣保館連絡協議会)	1,665	国1/2 県1/4 町1/4
東伯文化センター空調更新工事 【新規】	東伯文化センターの空調更新工事及び設計監理に要する経費 設計管理委託料 935千円 更新工事 10,801千円	11,736	県8,446千円 過疎債3,100千円 町190千円
合計		14,692	

事業の主な実施状況	<p>1 東伯隣保館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉の向上及び人権啓発の住民交流の拠点、地域住民の生活相談並びにあらゆる差別問題を解決するための研修会等各種啓発活動を行いました。 (1) 東伯文化センター運営審議会(委員数:11人) 年2回開催 (2) 年間利用人数:8,692人 (3) 各種事業の実施 <p>啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、人権課題の解決に向けた取り組みを行いました。</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数ほか</th> <th>参加人数ほか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>年間</td> <td>90件</td> </tr> <tr> <td>とうはく人権まなびの講座</td> <td>5回</td> <td>283人</td> </tr> <tr> <td>がくしゅうかい食堂(こども・地域交流)</td> <td>4回</td> <td>234人</td> </tr> <tr> <td>人権学習会</td> <td>毎週木曜日</td> <td>小学生:15人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	回数ほか	参加人数ほか	相談業務	年間	90件	とうはく人権まなびの講座	5回	283人	がくしゅうかい食堂(こども・地域交流)	4回	234人	人権学習会	毎週木曜日
事業名	回数ほか	参加人数ほか													
相談業務	年間	90件													
とうはく人権まなびの講座	5回	283人													
がくしゅうかい食堂(こども・地域交流)	4回	234人													
人権学習会	毎週木曜日	小学生:15人													

事業名	回数ほか	参加人数ほか
サマスタ	夏休み	小学生：55人
手話教室	年16回	149人
部落解放文化祭	10月	703人
小学生生活体験学習 (リバティースクール・えがお子ども食堂)	年2回	95人
ふれあい教室	年1回	6人
保護者支援事業(虹の会)	毎月 第2水曜日	55人



	担当課による評価	S 目的達成
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症流行の影響で、研修会や学習会などの参加が減少し、人とのかかわり、つながりが希薄になっていることから、生活の中の不合理や様々な人権課題に関心を持ってもらえるよう、わかりやすい講座を開催します。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人権問題の解決（解消）を図るため、テーマを定めて「とうはく人権まなびの講座」を開催し、多くの方の人権意識の向上に務めました。まなびの講座では、デフリンピックの映画上映に伴い、手話教室の皆さんの協力によるカフェ&トークショーを開催しました。多くの参加があり、デフリンピックの周知につながりました。 人権学習会では、聴覚、視覚などの身体的障がいについて、社会福祉協議会に協力いただき、体験学習を行いました。子どもたちだけではなく、保護者も参加して一緒に体験をし、学習を深めました。 地域ボランティアの協力や支援のもと、子どもの居場所づくりはもちろんのこと、「地域食堂」や「えがおこども食堂」に取組み交流を図ることができました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な取組みにより、多くの方の人権意識の向上を図ることができたと評価しました。 	
今後の取り組み の方向	<ul style="list-style-type: none"> 自分も人も大切にすることが大切であるということの基本として、子どもから大人まで、話す・学ぶ・体験する機会を提供していきます。 生活の中の不合理や様々な人権問題の解決（解消）に関心をもってもらえる「とうはく人権まなびの講座」を企画します。 地域住民と連携した交流事業の継続を図ります。 	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	571	事業名	赤碕隣保館運営費		会計区分	一般会計	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続	
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 隣保館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業 ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	6,257	6,159	1,987	984	0	0	3,188

事業の目的(なんのために) 地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点、そして住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権課題の解決のための各種事業を総合的にを行います。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
文化センター運営審議会	文化センター運営審議会を年2回開催し、年間計画や今後の取り組みを審議しました。 委員12人(地域住民代表、学識経験者、関係団体代表、小中学校代表、子ども園・保育園代表) ・委員報酬 30千円 (2千円×15人)	30	国1/2 県1/4 町1/4
返還金【新規】	令和5年度隣保館運営費等補助金の額確定により発生した返還金。 交付決定額 11,813,000円 実績額 9,591,000円 返還金 2,222,000円	2,222	国1/2 県1/4 町1/4
各種隣保館事業	各種隣保館事業(まなびの講座、部落解放文化祭、小中学生解放学習会、学習支援事業、地域交流事業等) ・報償費 620千円 ・食糧費 50千円 ・負担金 0千円(中3交流会)	670	国1/2 県1/4 町1/4
施設費整備(修繕)【改善】	修繕料 970千円 ・ガラス等修繕 970千円	970	国1/2 県1/4 町1/4
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 需用費 1,380千円 (消耗品費276千円、燃料費39千円、光熱水費1,065千円) 役務費 85千円 (通信運搬費31千円、保険料54千円) 委託料 220千円 使用料及び賃借料 432千円 (使用料27千円、借上料405千円) 負担金 70千円(県隣保館連絡協議会) 備品購入費 80千円	2,267	国1/2 県1/4 町1/4
合計		6,159	

事業の主な実施状況	<p>1 赤碕隣保館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉の向上及び人権啓発の住民交流の拠点として、地域住民の生活相談並びにあらゆる差別を解決するための研修会等各種啓発活動を実施しました。 (1) 赤碕文化センター運営審議会(委員数:12人) 年2回 (2) 年間利用者数:16,322人 (3) 各種事業の実施 																							
	<p style="text-align: right;">【活動の様子】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数(ほか)</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>年間</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>人権啓発講演会</td> <td>年5回</td> <td>154人</td> </tr> <tr> <td>解放学習会(小学生)</td> <td>毎週木曜日</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>解放学習会(中学生)</td> <td>毎週水曜日</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>学習支援事業</td> <td>10日間</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>高校生友の会</td> <td>2回</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>部落解放文化祭</td> <td>10月</td> <td>689人</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>おしゃべりカフェ寄茶</p> </div>	事業名	回数(ほか)	参加人数	相談業務	年間	94人	人権啓発講演会	年5回	154人	解放学習会(小学生)	毎週木曜日	26人	解放学習会(中学生)	毎週水曜日	11人	学習支援事業	10日間	30人	高校生友の会	2回	3人	部落解放文化祭	10月
事業名	回数(ほか)	参加人数																						
相談業務	年間	94人																						
人権啓発講演会	年5回	154人																						
解放学習会(小学生)	毎週木曜日	26人																						
解放学習会(中学生)	毎週水曜日	11人																						
学習支援事業	10日間	30人																						
高校生友の会	2回	3人																						
部落解放文化祭	10月	689人																						

	<table border="1"> <tr> <td>現地研修（フィールドワーク）</td> <td>13回</td> <td>260人</td> </tr> <tr> <td>地域交流事業</td> <td>20回</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>いきいきカルチャー</td> <td>毎週水曜日</td> <td>1,080人</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ体操教室</td> <td>毎週水曜日</td> <td>576人</td> </tr> <tr> <td>おしゃべりカフェ寄茶</td> <td>第2水曜日</td> <td>240人</td> </tr> </table>	現地研修（フィールドワーク）	13回	260人	地域交流事業	20回	250人	いきいきカルチャー	毎週水曜日	1,080人	ストレッチ体操教室	毎週水曜日	576人	おしゃべりカフェ寄茶	第2水曜日	240人	 <p>フィールドワークの様子</p>
現地研修（フィールドワーク）	13回	260人															
地域交流事業	20回	250人															
いきいきカルチャー	毎週水曜日	1,080人															
ストレッチ体操教室	毎週水曜日	576人															
おしゃべりカフェ寄茶	第2水曜日	240人															
	担当課による評価	S 目的達成															
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人権問題（課題）の解決に向け、学校や地域との連携を強化し、多くの住民が人権問題（課題）に関心をもてるよう啓発活動や支援事業を進めていく必要があります。 住民からの相談内容が複雑化、多様化しています。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人権問題（課題）の解決に対する研修会や講演会を開催し、町民への啓発活動を行うことができました。（あかさき人権まなびの講座等） 相談業務について、必要がある場合は、役場庁舎内連携を行い対応しました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画した事業を実施することができたこと、地域社会の福祉の向上、人権啓発の拠点としての役割を行っていると評価しました。 																
今後の取り組みの方向	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人との連携を図り、人権問題（課題）の解決が推進できるよう事業を行っていきます。 																

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	566	事業名	東伯児童館運営費		会計区分	一般会計	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続	
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,179	1,034	0	0	31	0	1,003

事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> 児童が心身ともに健やかに成長するために安心・安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供をします。 地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりに務めます。 親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間形成を目指します。
-------------------	---

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
各種児童館活動	子どもや保護者のつながりを深め、子どもの成長を支えることを目的として、年間を通したお話し会や工作教室、じどうかんまつり等を開催しました。 ・報償費 23千円(指導者金) ・食糧費 37千円	60	単町
環境整備(修繕) 【改善】	児童館を整備し、遊びや活動しやすい環境づくりを行いました。 ・修繕料 東伯文化センター1階空調機修繕 270千円 遊具塗装 76千円 網戸取替等 17千円	363	単町
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 需用費 426千円 (消耗品費161千円、燃料費23千円、光熱水費239千円、医薬材料費3千円) 役務費 31千円 (通信運搬費17千円、手数料6千円、保険料8千円) 使用料及び賃借料115千円 (下水道使用料10千円、印刷機リース105千円) 備品購入費 29千円 負担金 10千円(県児童館連絡協議会)	611	単町
合計		1,034	

事業の主な実施状況	<p>1 東伯児童館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が心身ともに健やかに成長するために、安心・安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。 <p>(1) 年間利用人数 : 2,211人</p> <p>(2) 事業実績</p>	<p>【児童館活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>こども食堂</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>とうはくじどうかんまつり</p> </div> </div>													
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とうはくじどうかんまつり</td> <td>1回</td> <td>213人</td> </tr> <tr> <td>まいにちじどうかん</td> <td>2回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>その他の児童館活動</td> <td>8回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>保護者育成支援</td> <td>3回</td> <td>98人</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	回数	参加人数	とうはくじどうかんまつり	1回	213人	まいにちじどうかん	2回	52人	その他の児童館活動	8回	120人	保護者育成支援
事業名	回数	参加人数													
とうはくじどうかんまつり	1回	213人													
まいにちじどうかん	2回	52人													
その他の児童館活動	8回	120人													
保護者育成支援	3回	98人													

事業目的の達成状況	担当課による評価	S 目的達成
<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども同士の出会いとふれあいの場として、安心して過ごせる居場所づくり、遊びの提供を行います。 感染症や熱中症防止のために必要な対策をとり、参加人数に対して必要な人員を配置するなど施設環境を整え活動を行います。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浦安地区公民館と共催事業やとうはくじどうかんまつりでのボランティアの協力など、いろいろな方々に参加していただき、地域交流の場になりました。 定員を設けて、クッキング活動も行うことができました。 夏の暑い期間に、児童館部分のエアコンが故障し、扇風機などで対応したが、安心して遊べる環境ではなく、早急にエアコンの改修工事が必要です。 		

	<p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画どおり、遊びをとおして子どもの自尊感情を高める様々な事業の取組みが本格的にできるようになったことを評価しました。
<p>今後の取り組み の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分も周りの人も大切にすることを基本として、子どもから大人まで、話す・学ぶ・体験する機会を提供します。 ・ 地域住民を巻き込んだ交流事業の継続を図ります。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	567	事業名	赤碕児童館運営費		会計区分	一般会計
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債
令和6年度	1,453	1,372	0	0	59	1,313

事業の目的 (なんのため に)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供をします。 ・ 地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりに務めます。 ・ 親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間形成を目指します。
-----------------------	---

細事業等	内容	決算額 (千円)	財源内訳
環境整備 【改善】	修繕料 445千円	445	単町
各種児童館活動	年間を通したお話し会や工作教室、じどうかんまつりを開催し、子どもや保護者のつながりを深め子どもの成長を支える。 ・ 報償費(指導謝金) 3千円 ・ 食糧費 60千円	63	単町
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 需用費 586千円 (消耗品費146千円、燃料費14千円、光熱水費419千円、医薬材料費7千円) 役務費 20千円 (通信運搬費13千円、手数料0千円、保険料7千円) 使用料及び賃借料 154千円 (下水道使用料10千円、複合機・印刷機リース144千円) 備品購入費 64千円 負担金 40千円 (県児童館連絡協議会10千円、全国児童館連絡協議会30千円)	864	単町
合計		1,372	

事業の主な実施状況	<p>1 赤碕児童館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が心身ともに健やかに成長するために、安心・安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に務めました。 また、地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりを行いました。 <p>(1) 年間利用人数 : 8,588人</p> <p>(2) 事業実績</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あかさきじどうかんまつり</td> <td>1回</td> <td>102人</td> </tr> <tr> <td>子どもみこしまつり</td> <td>1回</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>その他児童館活動</td> <td>月1回</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>保護者育成支援</td> <td>年間3回</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right;"> <p>【児童館活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>じどうかんまつりの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>餅つき大会の様子</p> </div> </div> </div>	事業名	回数	参加人数	あかさきじどうかんまつり	1回	102人	子どもみこしまつり	1回	110人	その他児童館活動	月1回	206人	保護者育成支援	年間3回
事業名	回数	参加人数													
あかさきじどうかんまつり	1回	102人													
子どもみこしまつり	1回	110人													
その他児童館活動	月1回	206人													
保護者育成支援	年間3回	35人													

事業目的の達成状況	<p>担当課による評価</p> <p>S 目的達成</p> <p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用する子どもたちや保護者に対し、安全で安心して過ごせる居場所となるよう、共に楽しみ、主体的な活動ができるよう工夫しながら取り組みをします。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館事業は、子どもたちを中心に活動を展開し、仲間と過ごすことの素晴らしさや関わることの楽しさを感じられるよう取り組みました。また、子どもたちや保護者からの相談や困りごとの窓口になるよう務めました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケガや事故が無いよう必要な対策を講じて、計画どおり事業を行えたことを評価しました。
-----------	--

今後の取り組み
の方向

- ・ 必要に応じて感染症対策を十分に行いながら、児童館活動を進めていきたいと考えている。
- ・ 仲間と共に成すことの楽しみや喜びなど、活動を通し経験できるよう地域や保護者と共に計画を立て、実施していきます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	296	事業名	人権・同和教育推進事業（事務費）			会計区分	一般会計
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
	重点事業 ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,603	2,241	0	36	0	0	2,205

事業の目的 (なんのために)	人権尊重のまちづくりを施策を積極的に推進するため、町と地区の協議会活動を支援します。
-------------------	--

細事業等	内容	決算額 (千円)	財源内訳
琴浦町人権・同和教育推進協議会運営費	・町人権・同和教育推進協議会 委託費 1,057千円 ・各地区人権・同和教育推進研究協議会委託費 12千円×3地区 = 36千円	1,092	単町
人権・同和教育部落懇談会の推進	・時間外手当 241千円（職員派遣）	241	単町
人権教育啓発教材	・人権教育・啓発のための教材を湯梨浜町、北栄町、三朝町と合同で制作しました。 委託料 36千円	36	県10/10
対象別人権・同和教育研修支援事業	・社会教育団体、企業等が自ら企画する人権教育研修にかかる講師謝金を助成しました。 報償金 58千円	58	単町
人権教育推進員及び教職員の研修	・人権教育推進員及び教職員の資質向上のため、全国研修へ派遣しました。 ・人権教育推進員（2大会派遣） 費用弁償 42千円 ・教職員（1大会、2名派遣） 費用弁償 172千円	214	単町
その他事務費	消耗品の購入や公用車関係経費等 592千円 ・消耗品費 64千円 ・燃料費 35千円 ・自動車保険料 19千円 ・公用車借上料 244千円 ・県人権文化センター負担金 219千円 ・県人権教育推進協議会負担金 18千円	598	単町
合計		2,239	

事業の主な実施状況	<p>1 琴浦町人権・同和教育推進協議会運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会ごと（行政部会、学校・園部会、企業部会、社会教育部会、福祉部会）に活動し、会員に対し人権教育及び啓発を行いました。 ・ 人権啓発事業の実施 3回（テーマ：①拉致問題、②性の多様性、③部落問題）により、町民（町内事業所）の方に教育及び啓発を行い、人権意識の高揚を図りました。 ・ 広報紙「つながりあう ことうら」を2回発行し、全戸配布を行って人権意識の高揚を図りました。 <p>2 人権・同和教育部落懇談会の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：「災害と人権」 災害時などの非常時に助け合うために、日頃から地域の繋がりの大切さについて話し合いました。 <p>実施時期 10月～2月（各部落単位で実施。開催部落：134部落（全部落：154部落）、参加者数：1,578人）</p> <p>3 人権教育啓発教材製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育・啓発のための教材を琴浦町・湯梨浜町・北栄町と合同で制作しました。 （3町連携人権啓発番組：「災害と人権」～要配慮者の視点～） <p>4 対象別人権・同和教育研修支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育団体、企業等が自ら企画する人権教育研修にかかる講師謝金について助成を行いました。 （しらとり子ども園保護者会、赤碕中学校PTA、八橋小学校PTA）
-----------	---

	5 人権教育推進員及び教職員の研修 <ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進員及び協職員の資質向上のため、研修へ派遣しました。 	
事業目的の達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり
	【前年度の課題の概要】 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、人権・同和教育部落懇談会が以前のように部落単位で開催できるように関係機関と推進方法等の協議を進めていく必要があります。 【前年度課題についての対応及び成果】 <ul style="list-style-type: none"> R 6年度から各部落単位で人権・同和教育部落懇談会を開催し、人権教育及び啓発を行いました。また、人権啓発事業によりたくさんの方に人権尊重のまちづくりのための啓発活動ができました。 【担当課による評価の理由】 <ul style="list-style-type: none"> 各部落単位で部落役員と町職員の協働による人権・同和教育部落懇談会が開催できたことにより評価を行いました。 	
今後の取り組みの方向	<ul style="list-style-type: none"> 町職員と各部落（町民）が協働して人権学習を行い、課題解決に向け共通認識をもち、誰もが安心・安全に暮らせる人権尊重のまちづくりを目指します。 	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	302	事業名	人権尊重の社会づくりの推進			会計区分	一般会計	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費		
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり				
	重点事業 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	602	344	0	0	0	0	344	
事業の目的 (なんのために)	安心して暮らせる町づくりのために「人権尊重の社会づくり条例」に基づいた施策を推進します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
人権尊重の社会づくり審議会	人権施策基本方針に基づく分野別の取り組み状況や今後の施策について審議しました。 委員17人(学識経験者、各種団体代表、行政職員) ・報酬 16千円 委員報酬 2千円×8人 ・報償金 0千円 助言・指導					16	単町	
人権侵害等の事象対応	差別事象検討委員会の開催 差別事象が発生した場合、事象の要因、社会的背景を分析するとともに、再発防止や今後の啓発方法のあり方について協議・検討します。また、困難な問題については、顧問弁護士に相談し、解決につなげます。 ・報償費 0千円(令和6年度は開催なし)					0	単町	
人権啓発ワッペン作成	人権意識の高揚のため職員及び小中学生の人権啓発ワッペンを作成しました。(部落解放月間・人権週間に着用) ・消耗品費 270千円 ワッペン作成 248千円(職員・小中学生用(700枚)、保育園・こども園用(500枚)) 人権標語入賞者記念品 10千円 その他消耗品 12千円					270	単町	
自治体と連携する組織への負担金	・負担金 58千円 (東伯郡同和対策推進協議会 38千円、部落解放人権政策確立要求鳥取県実行委員会 20千円)					58	単町	
合計						344		
事業の主な実施状況	<p>1 人権尊重の社会づくり審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 町人権施策基本方針(実施計画)の取組状況や今後の施策について審議を行いました。(委員数:19名) (実施計画にもとづく事業の検証) <p>2 人権啓発ワッペン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権意識の高揚のため、町職員、園児、小中学生の啓発ワッペンを作成し啓発を行いました。 <p>3 自治体と連携する組織への負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 郡内4町で構成する郡同和対策推進協議会に対し、様々な人権問題の早期解決を図る対策の促進のため、負担金を支出しました。 (部落解放月間及び人権週間での啓発、人権啓発活動に係る企業訪問での啓発、小中学生を対象とした人権標語及び作文での啓発) 							
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> R5年度に策定した町人権施策基本方針(実施計画)による施策がきちんと行われているか評価を行うことが求められます。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町人権施策基本方針(実施計画)による施策について、各課の取りまとめを行い、町人権尊重の社会づくり審議会で検証することができました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町人権施策基本方針(実施計画)で策定した施策について、各課とも概ね実施することができました。 							
	<p>今後の取り組みの方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 「町人権尊重の社会づくり審議会」において、毎年事業の実施状況や進捗状況等について、点検・評価を行い、その結果を以後の施策に反映させていくPDCAサイクルを推進していきます。 							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	575	事業名	人権教育推進事業(法務省委託)		会計区分	一般会計	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	179	151	0	143	0	0	8
事業の目的 (なんのため に)	人権に対する町民一人ひとりの正しい理解と認識を深め「人権尊重のまち」を築くため、啓発活動を推進します。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
人権啓発活動地方委託事業(法務省委託)	ことうら人権まなびの集いを開催しました。 ・ 報償金 133千円 人権講演会講師謝金 130千円 託児謝金 3千円 ・ 消耗品費 18千円			151	県10/10 町8千円(補助対象外)		
合計				151			
事業の主な実施状況	1 「ことうら人権まなびの集い」を開催(12月1日) <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ:「人権と平和」～すべての子どもたちに希望と笑顔を～ ・ 手話通訳、要約筆記、託児の対応を行い、誰でも参加しやすい体制を整えました。 ・ 参加人数(午前の部:70人、午後の部:82人、計:152人) 【午前の部】 ○子ども向けイベント ・ 人権ブラバン、リース作り 人形劇(倉吉人権擁護委員協議会)						
	【午後の部】 ○実践発表 ・ 小学生解放「学習会」による手話ソング『虹』の発表 ○人権講演会 ・ 演題:「旅という火と旅からの風」～世界の子どものための現場から～ ・ 講師:西野 旅峰(にしの りよお)さん(自転車冒険家) ○人権啓発パネル展 ・ ユニセフ「子どもたちにやさしい地球を残そう」 ・ 町内小中学生の人権標語 ・ 東伯文化センター人権学習作品 ・ 赤碓文化センター小学生解放「学習会」作品						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	【前年度の課題の概要】 ・ 人権尊重のまちづくりを推進するためには、多くの方に人権問題(課題)について正しい知識と認識を身につけていただくことが求められることから参加しやすい環境づくりが大切となります。						
今後の取り組みの方向	【前年度課題についての対応及び成果】 ・ 町民の方々と共に学ぶ機会とするために、午前中の事業を行ったり、小学生解放「学習会」の発表や展示を行うなど取り組みを工夫しました。						
	【担当課による評価の理由】 ・ 事業の開催について、様々な配慮を行いながら開催できたと判断し、A相当程度進展ありと評価しました。 ・ 町人権・同和教育推進協議会の事業として、各団体も事業に関われるような取り組みを検討していきます。 ・ 子ども向けのイベントについて、予想以上に多くの来場がありました。午後の部の参加に繋がるよう工夫する必要があります。						

